

### 3 調査結果

#### 3.1 ごみ組成

##### (1) 8月調査

##### 1) 名越地区

##### (a) 分別生ごみ

名越クリーンセンター管内における分別生ごみの湿りごみ組成調査結果を以下の図表に示す。分別生ごみとして排出されたごみの中に占める生ごみ（組成）の割合は8月28日70.2%、31日83.8%、平均すると77.0%であった。生ごみ（組成）以外のものも多く含まれているのはプラスチック類で8月28日14.1%、31日11.3%、平均すると12.7%であった。金属・ガラス類及びその他不燃物の排出は見られなかった。

表 3-1 名越地区分別生ごみ組成調査結果（8月）（単位：％）

地区名 月日	名越	名越	平均
	8月28日	8月31日	
紙類	13.4	1.8	7.6
プラスチック類	14.1	11.3	12.7
木・竹類	0.2	0.0	0.1
生ごみ(組成)	70.2	83.8	77.0
繊維類	0.0	0.0	0.0
排出容器	2.1	2.9	2.5
その他の可燃物	0.0	0.0	0.0
金属・ガラス類	0.0	0.2	0.1
その他の不燃物	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0

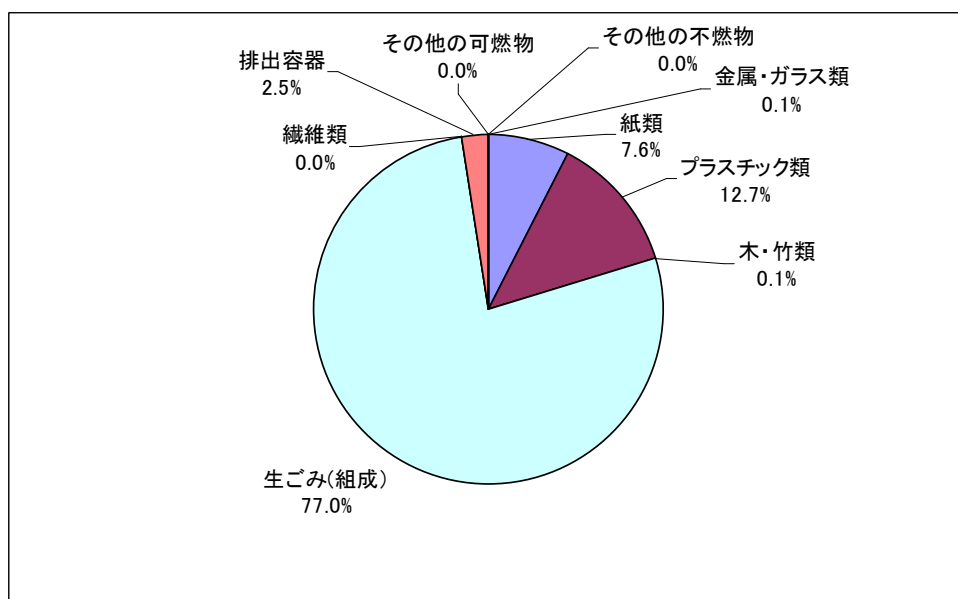


図 3-1 名越地区分別生ごみ組成調査結果（8月）

(b) 分別燃やすごみ

名越クリーンセンター管内における分別燃やすごみの湿りごみ組成調査結果を以下の図表に示す。分別燃やすごみの中の生ごみ（組成）の割合は、8月28日15.8%、31日13.1%、平均で14.5%であった。

表 3-2 名越地区分別燃やすごみ組成調査結果（8月）（単位：%）

地区名	名越	名越	平均
調査日	8月28日	8月31日	
生ごみ(組成)	15.8	13.1	14.5
その他	84.2	86.9	85.5
合計	100.0	100.0	100.0

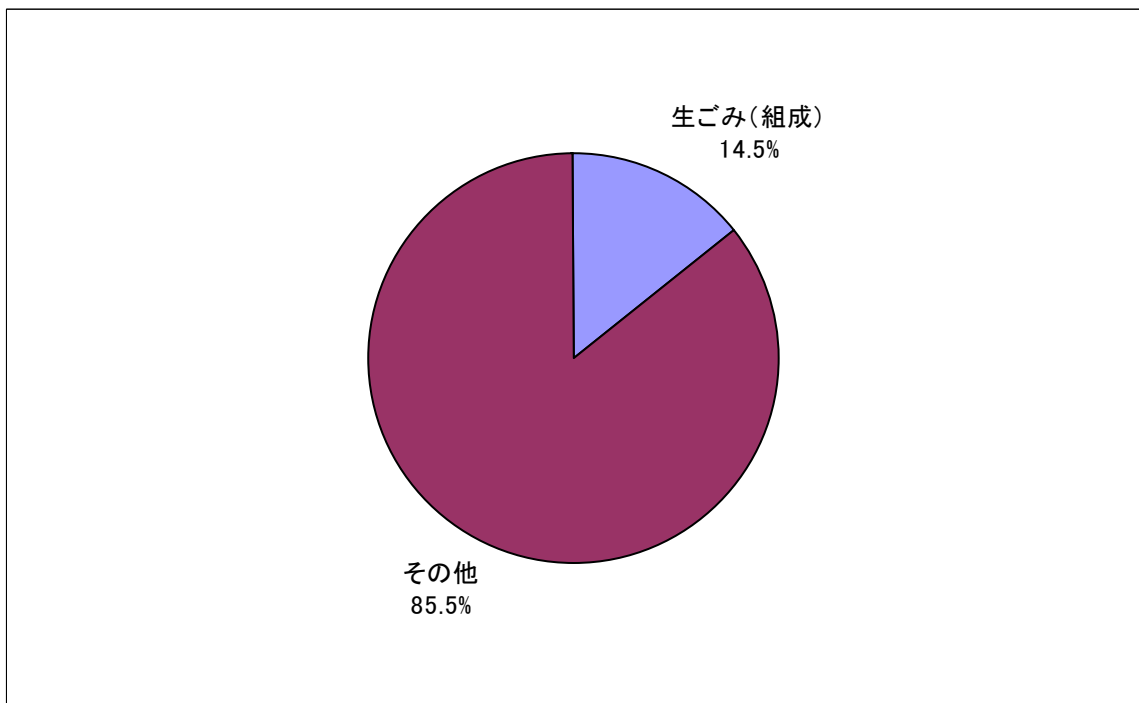


図 3-2 名越地区分別燃やすごみ組成調査結果（8月）

## 2) 今泉地区

### (a) 分別生ごみ

今泉クリーンセンター管内における分別生ごみの湿りごみ組成調査結果を以下の図表に示す。分別生ごみとして排出されたごみの中に占める生ごみ（組成）の割合は8月28日85.7%、31日67.4%、平均で76.5%であった。生ごみ（組成）以外のもの多く含まれているのはプラスチック類で8月28日8.0%、31日16.2%、平均で12.1%であった。金属・ガラス類及びその他不燃物の排出は見られなかった。

表 3-3 今泉地区分別生ごみ組成調査結果（8月）（単位：％）

地区名 月日	今泉	今泉	平均
	8月28日	8月31日	
紙類	2.6	12.0	7.3
プラスチック類	8.0	16.2	12.1
木・竹類	0.0	0.0	0.0
生ごみ(組成)	85.7	67.4	76.5
繊維類	0.0	1.4	0.7
排出容器	1.9	3.0	2.5
その他の可燃物	1.8	0.0	0.9
金属・ガラス類	0.0	0.0	0.0
その他の不燃物	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0

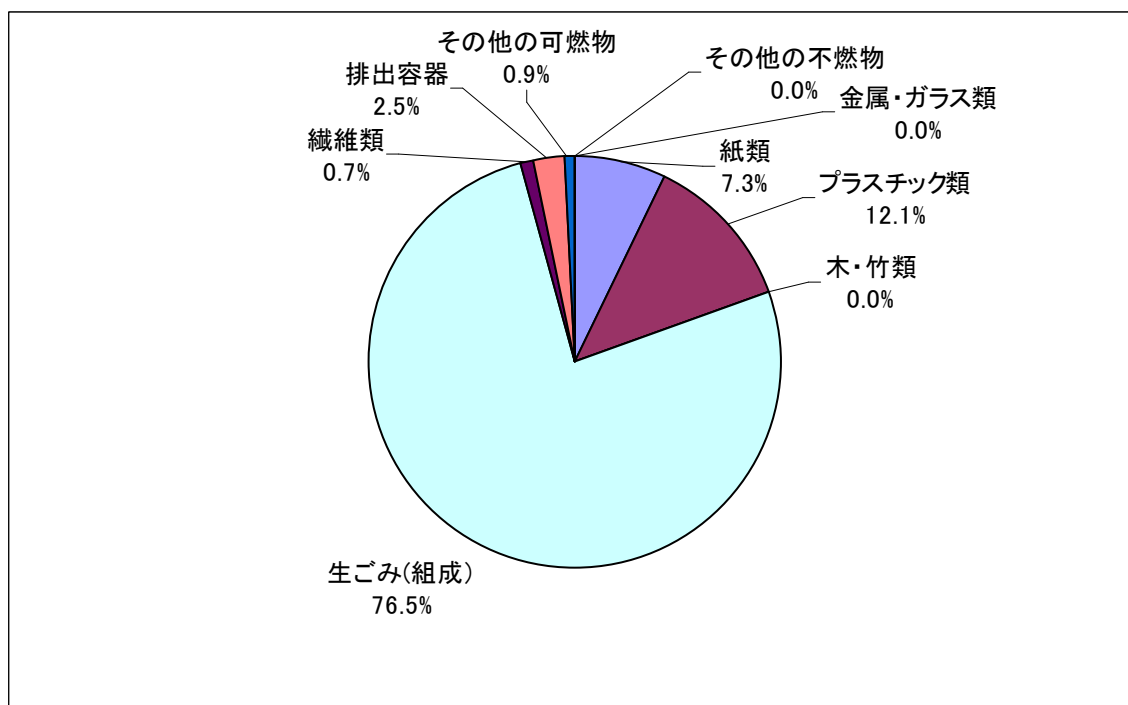


図 3-3 今泉地区分別生ごみ組成調査結果（8月）

(b) 分別燃やすごみ

今泉クリーンセンター管内における分別燃やすごみの湿りごみ組成調査結果を以下の図表に示す。分別燃やすごみの中の生ごみ（組成）の割合は8月28日が14.6%、31日が20.6%、平均で17.6%であった。

表 3-4 今泉地区分別燃やすごみ組成調査結果（8月）（単位：%）

地区名	今泉		平均
	8月28日	8月31日	
調査日	8月28日	8月31日	
生ごみ(組成)	14.6	20.6	17.6
その他	85.4	79.4	82.4
合計	100.0	100.0	100.0

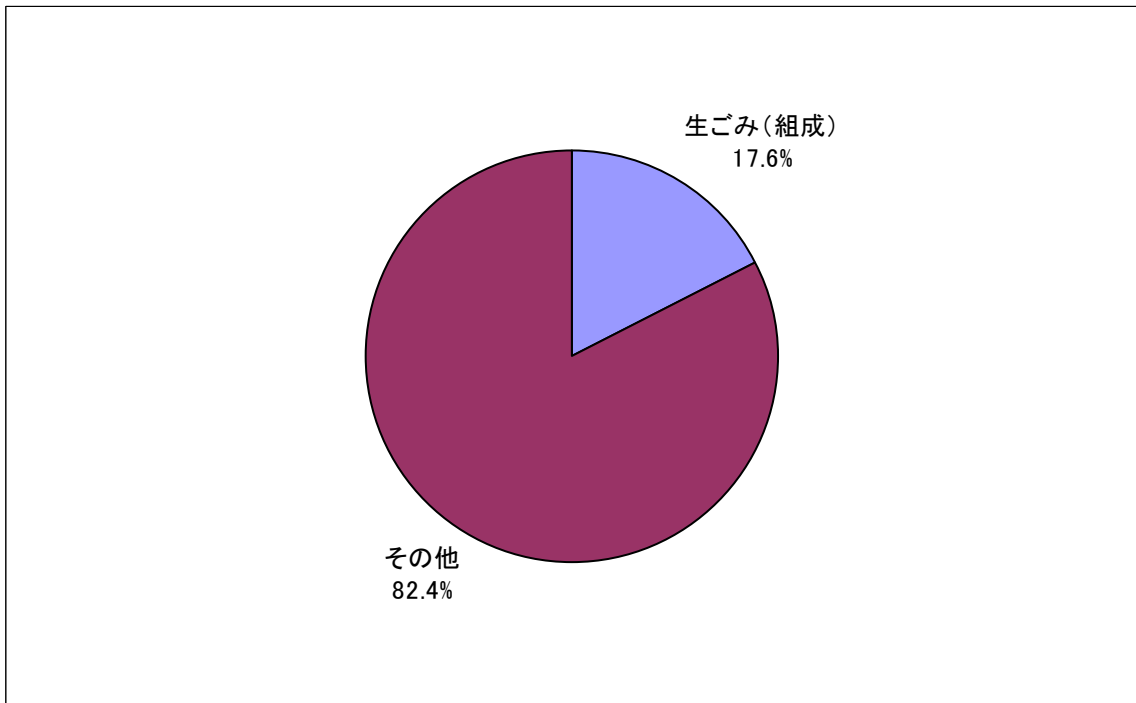


図 3-4 今泉地区分別燃やすごみ組成調査結果（8月）

### 3) 2 地区合計

#### (a) 分別生ごみ

分別生ごみとして収集されたごみのうち、本来の生ごみ（組成）が占める割合は 67.4～85.7%であり、夏期調査を通じての平均は 76.5%で約 80%の純度で回収されている。今泉クリーンセンター管内、名越クリーンセンター管内に偏りは見られず、今泉クリーンセンター管内は 8 月 28 日 85.7%、31 日 67.4%、名越クリーンセンター管内は 28 日 70.2%、31 日 83.8%とばらつきが見られた。

不純物（発酵不適物）として目立ったものは、プラスチック類であり、レジ袋やラップが多く、レジ袋等に生ごみを入れて廃棄していた事例が目立ったことによるものと考えられる。プラスチック類は、全体の平均で 12.4%となっており、排出容器（専用の排出袋）を合わせると約 15%のプラスチック類が含まれることになる。

金属・ガラス類及びその他不燃物の排出は見られなかった。

表 3-5 2 地区合計分別生ごみ組成調査結果（8 月）（単位：％）

地区名	名越	名越	今泉	今泉	平均	最大	最小
月日	8月28日	8月31日	8月28日	8月31日			
紙類	13.4	1.8	2.6	12.0	7.5	13.4	1.8
プラスチック類	14.1	11.3	8.0	16.2	12.4	16.2	8.0
木・竹類	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0
生ごみ(組成)	70.2	83.8	85.7	67.4	76.5	85.7	67.4
繊維類	0.0	0.0	0.0	1.4	0.4	1.4	0.0
排出容器	2.1	2.9	1.9	3.0	2.5	3.0	1.9
その他の可燃物	0.0	0.0	1.8	0.0	0.5	1.8	0.0
金属・ガラス類	0.0	0.2	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0
その他の不燃物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-

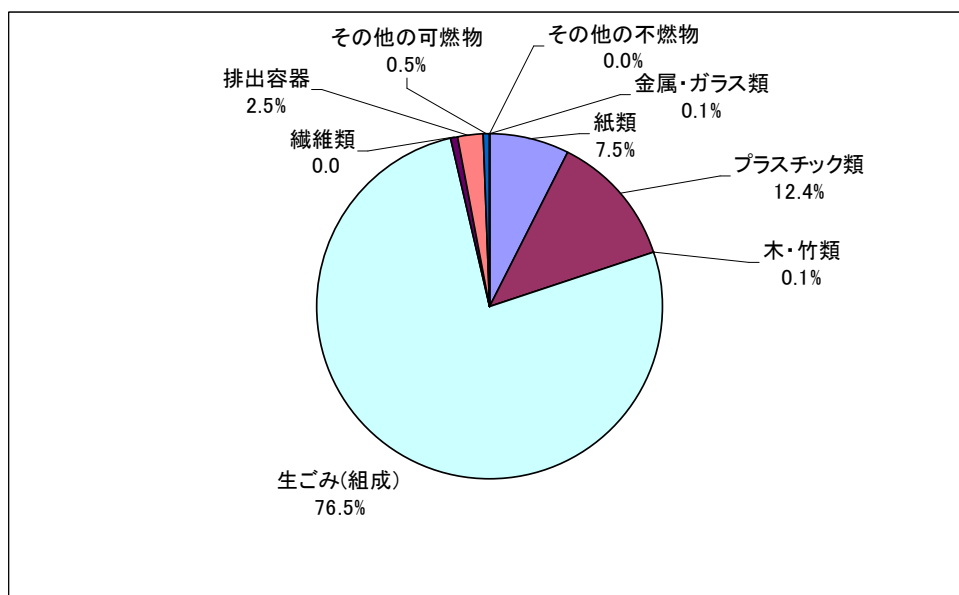


図 3-5 2 地区合計分別生ごみ組成調査結果（8 月）

(b) 分別燃やすごみ

分別燃やすごみとして排出されたごみの中に含まれる生ごみ（組成）の割合は、13.1%～20.6%で全体の平均は16.0%であった。8月31日の今泉クリーンセンター管内が若干多く20.6%となっているが、それ以外は概ね15%程度という結果になっている。生ごみ以外は概ね85%程度である。

表 3-6 2 地区合計分別燃やすごみ組成調査結果（8月）（単位：%）

地区名 調査日	名越		今泉		平均	最大	最小
	8月28日	8月31日	8月28日	8月31日			
生ごみ(組成)	15.8	13.1	14.6	20.6	16.0	20.6	13.1
その他	84.2	86.9	85.4	79.4	84.0	86.9	79.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-

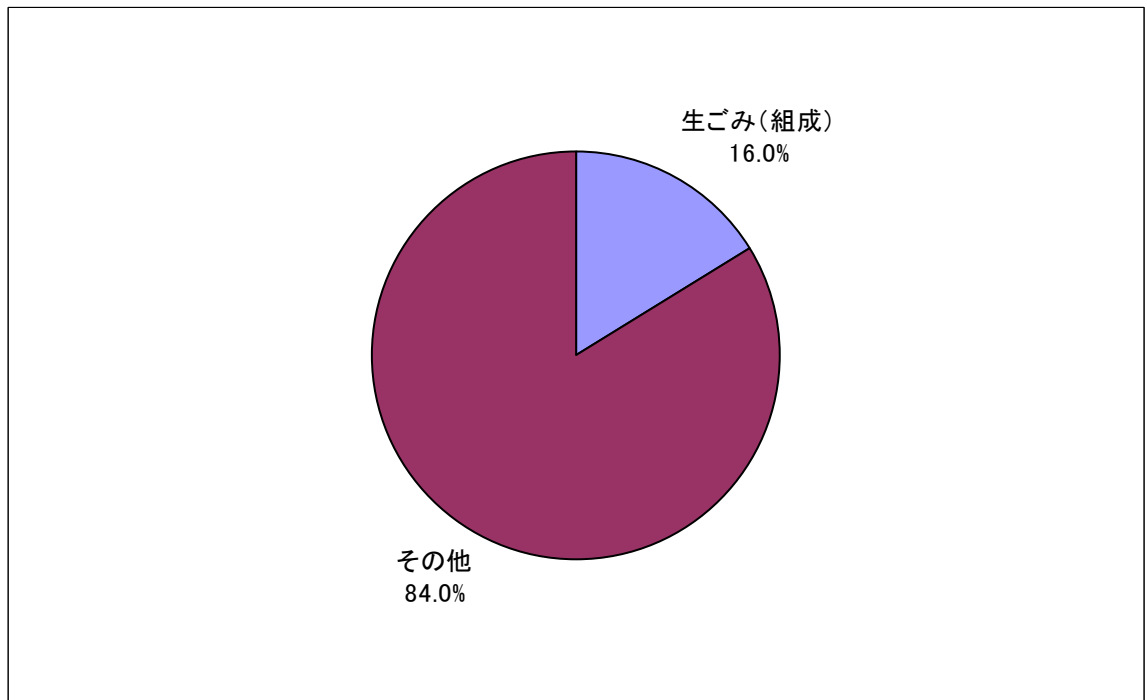


図 3-6 2 地区合計分別燃やすごみ組成調査結果（8月）

(2) 10月調査

1) 名越地区

(a) 分別生ごみ

名越クリーンセンター管内における分別生ごみの湿りごみ組成調査結果を以下の図表に示す。分別生ごみとして排出されたごみの中に占める生ごみ（組成）の割合は、10月23日89.4%、26日88.5%、平均で88.7%であった。生ごみ（組成）以外のものが多く含まれているのはプラスチック類で平均5.6%であった。

表 3-7 名越地区分別生ごみ組成調査結果（10月）（単位：%）

地区名	名越	名越	平均
月日	10月23日	10月26日	
紙類	2.3	2.6	2.5
プラスチック類	6.0	5.2	5.6
木・竹類	0.0	0.1	0.1
生ごみ(組成)	89.4	88.5	88.7
繊維類	0.0	0.0	0.0
排出容器	2.3	3.2	2.8
その他の可燃物	0.0	0.1	0.1
金属・ガラス類	0.0	0.2	0.1
その他の不燃物	0.0	0.1	0.1
合計	100.0	100.0	100.0

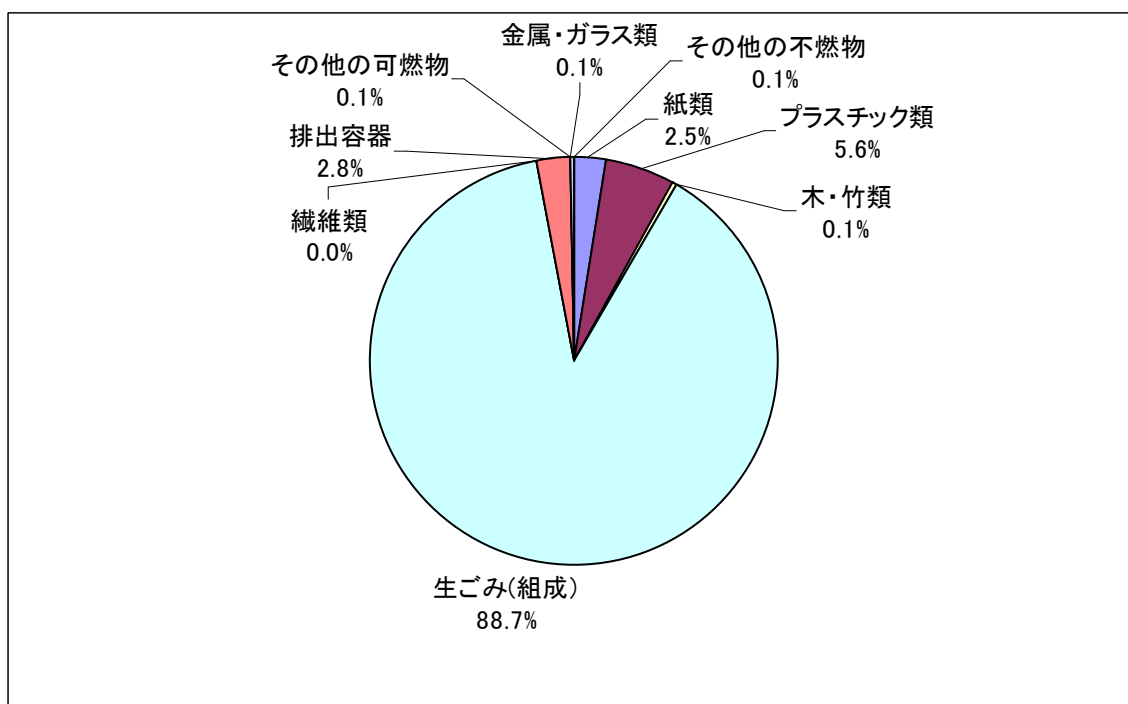


図 3-7 名越地区分別生ごみ組成調査結果（10月）

(b) 分別燃やすごみ

名越クリーンセンター管内における分別燃やすごみの湿りごみ組成調査結果を以下の図表に示す。分別燃やすごみの中の生ごみ（組成）の割合は、10月23日25.8%、26日20.1%、平均で23.0%であった。

表 3-8 名越地区燃やすごみ組成調査結果（10月）（単位：%）

地区名	名越	名越	平均
調査日	10月23日	10月26日	
生ごみ(組成)	25.8	20.1	23.0
その他	74.2	79.9	77.0
合計	100.0	100.0	100.0

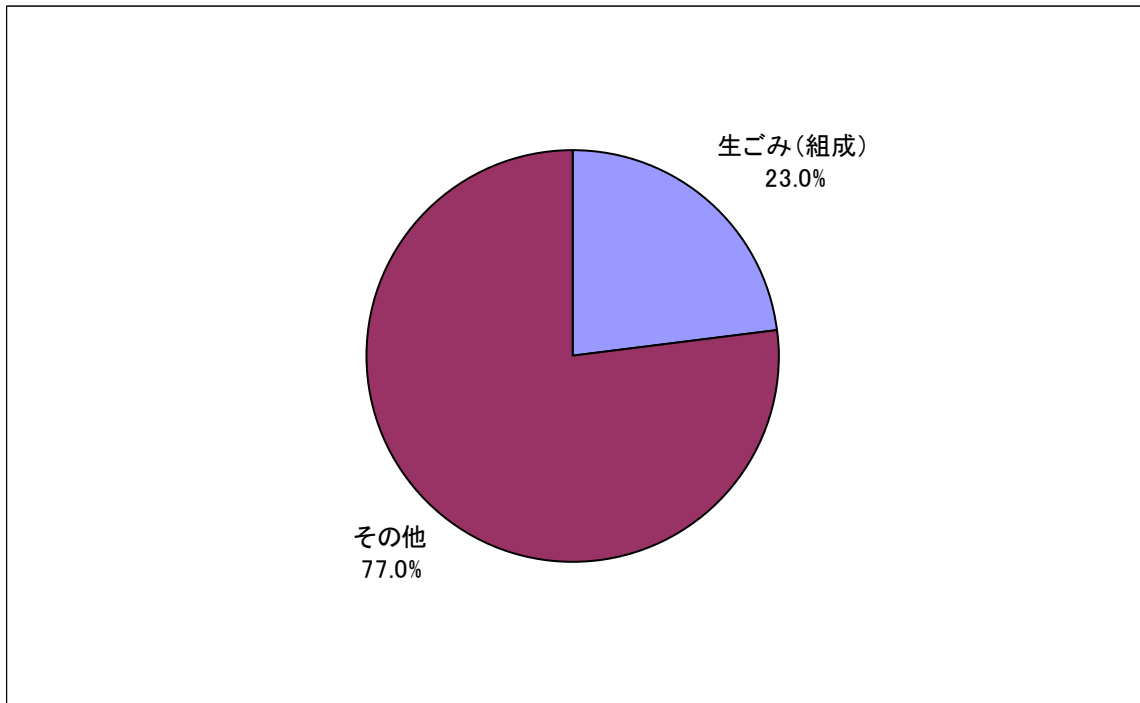


図 3-8 名越地区分別燃やすごみ組成調査結果（10月）



## 2) 今泉地区

### (a) 分別生ごみ

今泉クリーンセンター管内における分別生ごみの湿りごみ組成調査結果を以下の図表に示す。分別生ごみとして排出されたごみの中に占める生ごみ（組成）の割合は、10月23日87.2%、26日87.8%、平均で87.3%であった。生ごみ（組成）以外のものが多く含まれているのはプラスチック類で平均5.5%であった。

表 3-9 今泉地区分別生ごみ組成調査結果（10月）（単位：％）

地区名	今泉	今泉	平均
月日	10月23日	10月26日	
紙類	2.8	1.9	2.4
プラスチック類	7.8	3.2	5.5
木・竹類	0.0	0.0	0.0
生ごみ(組成)	87.2	87.8	87.3
繊維類	0.0	0.4	0.2
排出容器	2.1	6.6	4.4
その他の可燃物	0.1	0.0	0.1
金属・ガラス類	0.0	0.0	0.0
その他の不燃物	0.0	0.1	0.1
合計	100.0	100.0	100.0

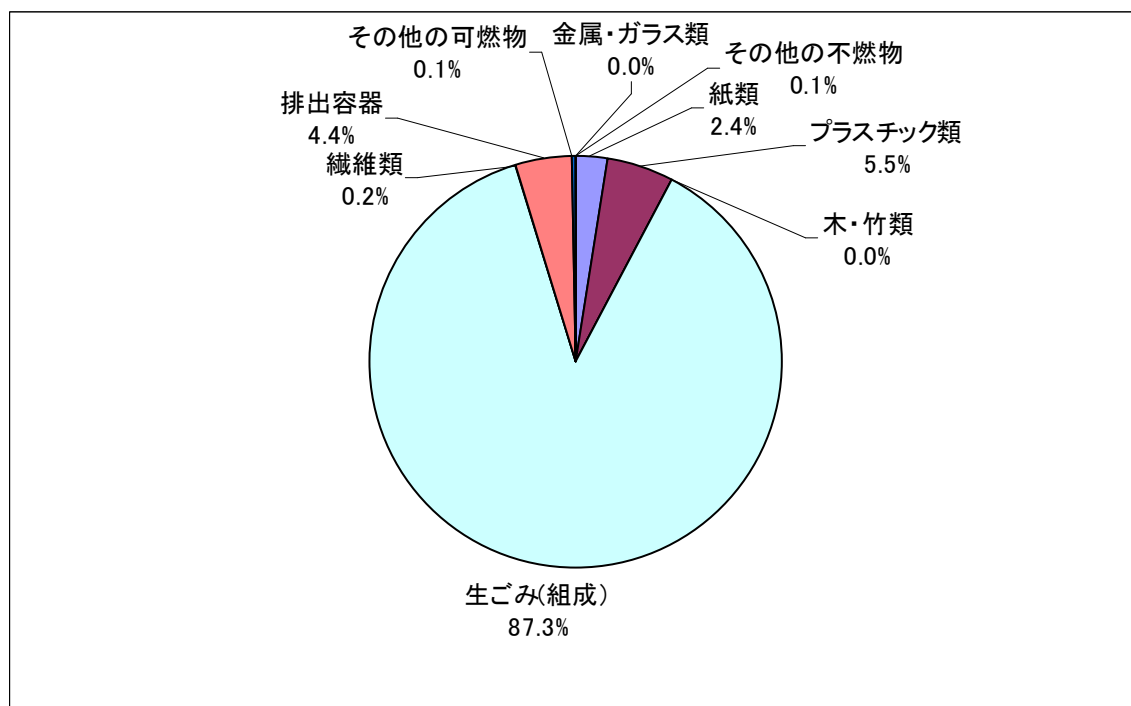


図 3-9 今泉地区分別生ごみ組成調査結果 (10月)

(b) 分別燃やすごみ

今泉クリーンセンター管内における分別燃やすごみの湿りごみ組成調査結果を以下の図表に示す。分別燃やすごみの中の生ごみ（組成）の割合は、10月23日24.7%、26日20.4%、平均で22.6%であった。

表 3-10 今泉地区分別燃やすごみ組成調査結果（10月）（単位：%）

地区名	今泉	今泉	平均
調査日	10月23日	10月26日	
生ごみ(組成)	24.7	20.4	22.6
その他	75.3	79.6	77.4
合計	100.0	100.0	100.0

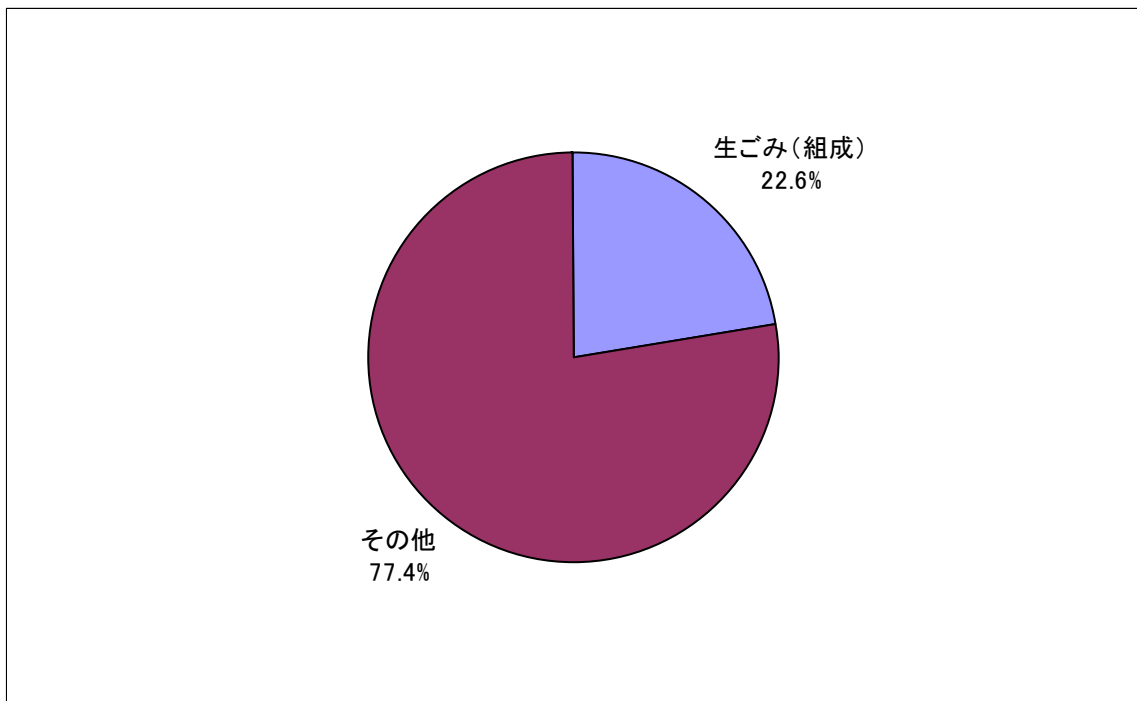


図 3-10 今泉地区分別燃やすごみ組成調査結果（10月）

### 3) 2 地区合計

#### (a) 分別生ごみ

分別生ごみとして収集されたごみのうち、生ごみ（組成）は 87.2～89.4%であり、秋期調査を通じての平均は 88.0%で 90%弱の純度で回収されている。今泉クリーンセンター管内、名越クリーンセンター管内による偏りは見られず、試料採取日によるばらつきも小さかった。

不純物（発酵不適物）として目立つものは、プラスチック類（5.6%）と排出容器（3.6%）で、これらを合わせると約 10%のプラスチック類が含まれることになる。

表 3-11 2 地区合計分別生ごみ組成調査結果（10 月）（単位：%）

地区名	名越	名越	今泉	今泉	平均	最大	最小
月日	10月23日	10月26日	10月23日	10月26日			
紙類	2.3	2.6	2.8	1.9	2.4	2.8	1.9
プラスチック類	6.0	5.2	7.8	3.2	5.6	7.8	3.2
木・竹類	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
生ごみ(組成)	89.4	88.5	87.2	87.8	88.0	89.4	87.2
繊維類	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1	0.4	0.0
排出容器	2.3	3.2	2.1	6.6	3.6	6.6	2.1
その他の可燃物	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0
金属・ガラス類	0.0	0.2	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0
その他の不燃物	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-

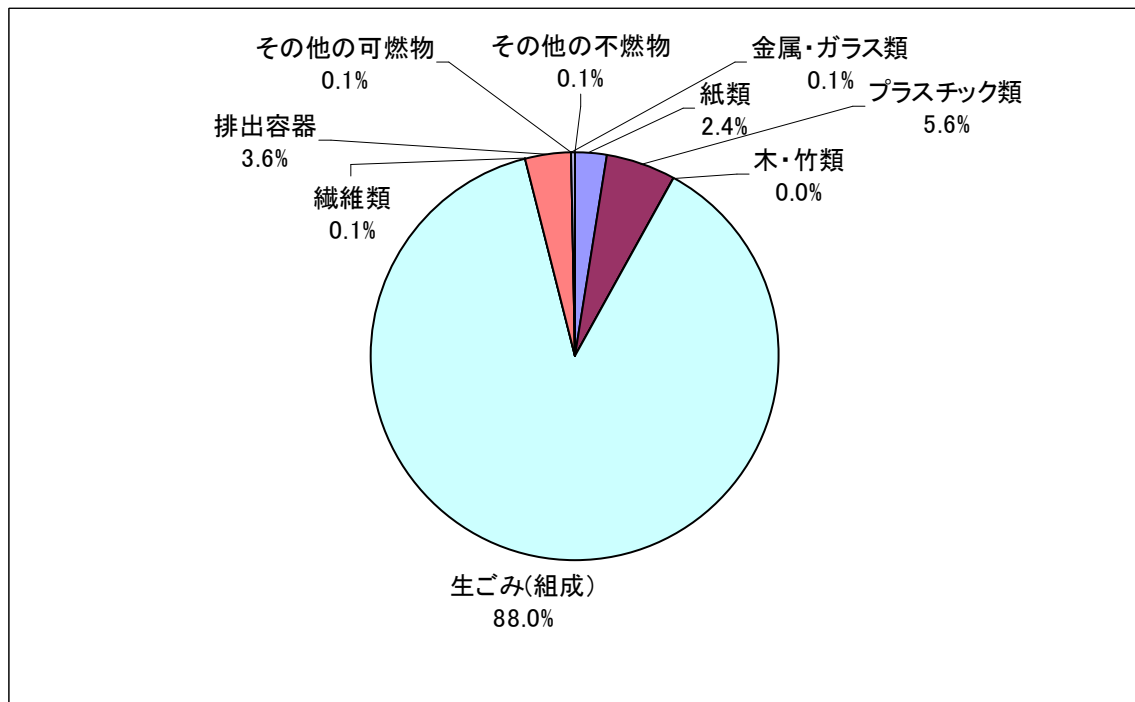


図 3-11 2 地区合計分別生ごみ組成調査結果（10 月）

(b) 分別燃やすごみ

分別燃やすごみとして排出されたごみの中の生ごみ（組成）は、20.1%～25.8%で全体の平均は22.8%であった。

表 3-12 2 地区合計分別燃やすごみ組成調査結果（10月）（単位：%）

地区名	名越	名越	今泉	今泉	平均	最大	最小
調査日	10月23日	10月26日	10月23日	10月26日			
生ごみ(組成)	25.8	20.1	24.7	20.4	22.8	25.8	20.1
その他	74.2	79.9	75.3	79.6	77.2	79.9	74.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-

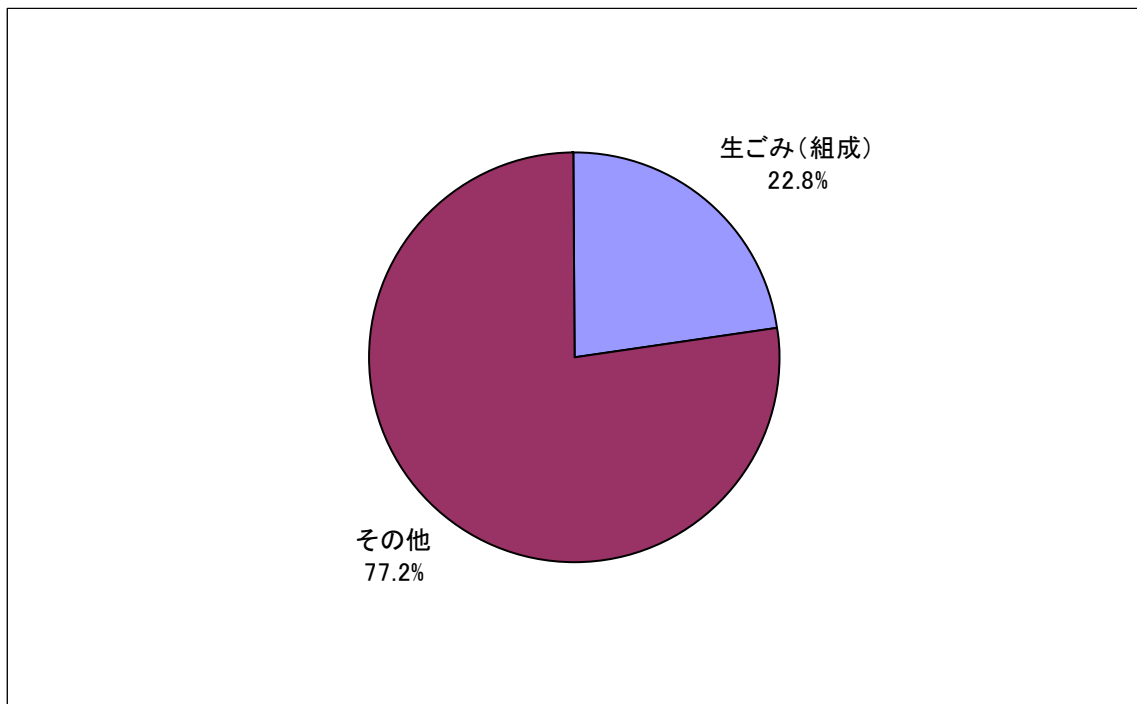


図 3-12 2 地区合計分別燃やすごみ組成調査結果（10月）

(3) 1月調査

1) 名越地区

(a) 分別生ごみ

名越クリーンセンター管内における分別生ごみの湿りごみ組成調査結果を以下の図表に示す。分別生ごみとして排出されたごみの中に占める生ごみ（組成）の割合は、1月15日 89.7%、18日 95.8%、平均で 92.6%であった。生ごみ（組成）以外のもの多く含まれているのはプラスチック類と紙類及び排出容器で、それぞれ、2.9%、2.8%、1.7%であった。

表 3-13 名越地区分別生ごみ組成調査結果（1月）（単位：％）

地区名	名越	名越	平均
月日	1月15日	1月18日	
紙類	4.1	1.4	2.8
プラスチック類	4.1	1.6	2.9
木・竹類	0.0	0.0	0.0
生ごみ(組成)	89.7	95.8	92.6
繊維類	0.0	0.0	0.0
排出容器	2.1	1.2	1.7
その他の可燃物	0.0	0.0	0.0
金属・ガラス類	0.0	0.0	0.0
その他の不燃物	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0

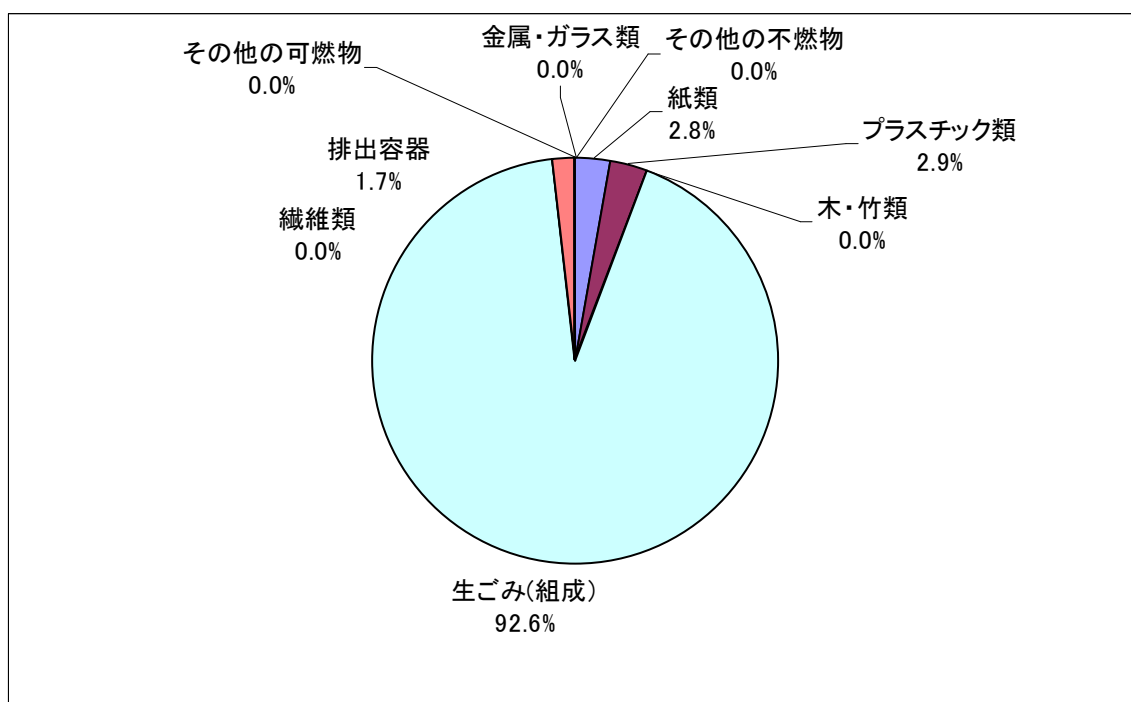


図 3-13 名越地区分別生ごみ組成調査結果（1月）

(b) 分別燃やすごみ

名越クリーンセンター管内における分別燃やすごみの湿りごみ組成調査結果を以下の図表に示す。分別燃やすごみの中の生ごみ（組成）の割合は、1月15日 39.9%、18日 42.8%、平均で 41.4%であった。

表 3-14 名越地区分別燃やすごみ組成調査結果（1月）（単位：%）

地区名	名越	名越	平均
調査日	1月15日	1月18日	
生ごみ(組成)	39.9	42.8	41.4
その他	60.1	57.2	58.6
合計	100.0	100.0	100.0

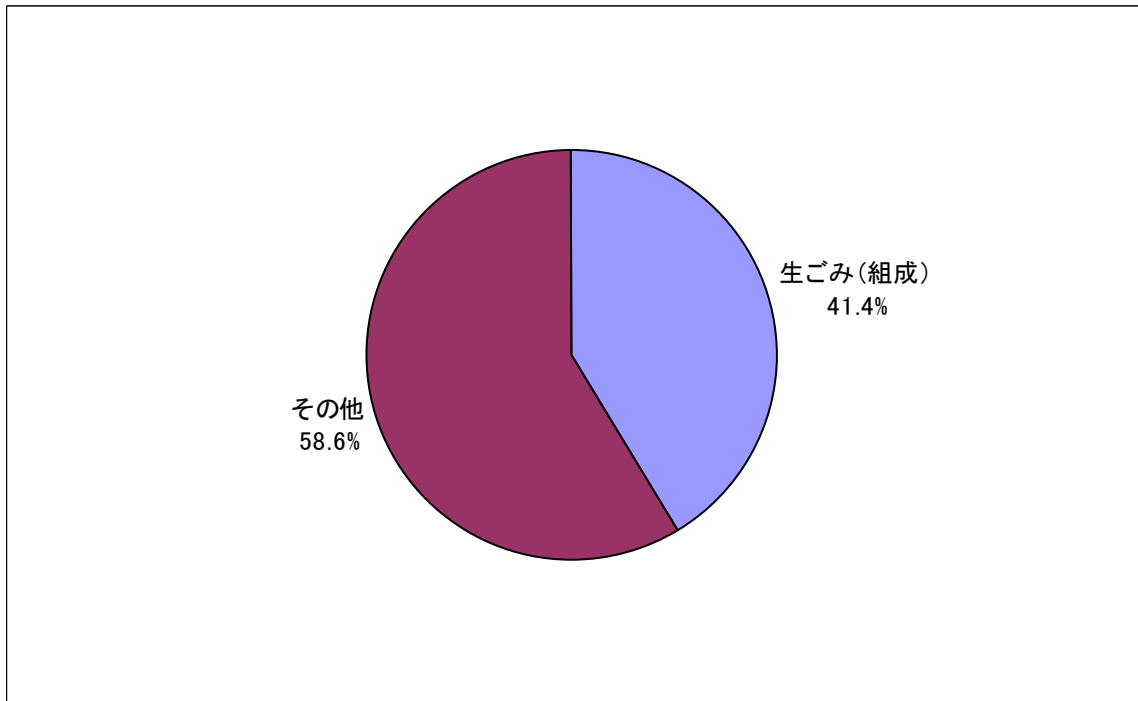


図 3-14 名越地区分別燃やすごみ組成調査結果（1月）

## 2) 今泉地区

### (a) 分別生ごみ

今泉クリーンセンター管内における分別生ごみの湿りごみ組成調査結果を以下の図表に示す。分別生ごみとして排出されたごみの中に占める生ごみ（組成）の割合は、1月15日92.6%、18日90.3%、平均で91.3%であった。生ごみ（組成）以外のもの多く含まれているのは紙類とプラスチック類及び排出容器でそれぞれ4.4%、2.7%、1.4%であった。

表 3-15 今泉地区分別生ごみ組成調査結果（1月）（単位：％）

地区名	今泉	今泉	平均
月日	1月15日	1月18日	
紙類	2.5	6.2	4.4
プラスチック類	3.4	1.9	2.7
木・竹類	0.1	0.0	0.1
生ごみ(組成)	92.6	90.3	91.3
繊維類	0.0	0.0	0.0
排出容器	1.2	1.6	1.4
その他の可燃物	0.0	0.0	0.0
金属・ガラス類	0.0	0.0	0.0
その他の不燃物	0.2	0.0	0.1
合計	100.0	100.0	100.0

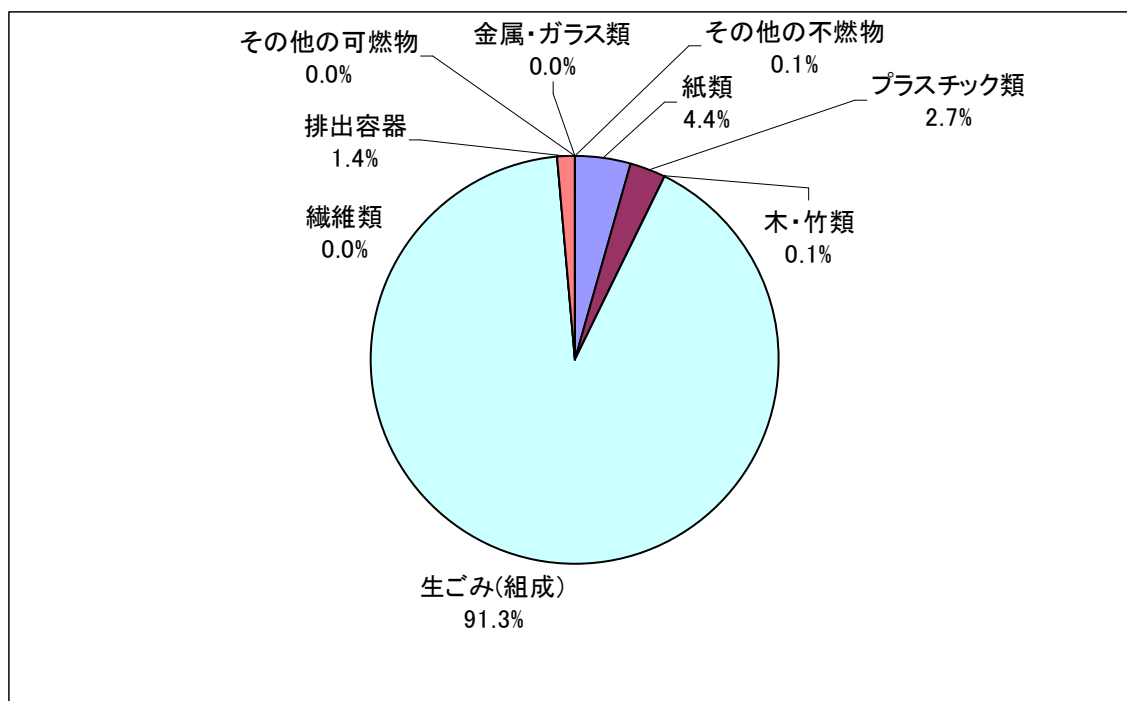


図 3-15 今泉地区分別生ごみ組成調査結果（1月）

(b) 分別燃やすごみ

今泉クリーンセンター管内における分別燃やすごみの湿りごみ組成調査結果を以下の図表に示す。分別燃やすごみの中の生ごみ（組成）の割合は、1月15日25.1%、18日13.9%、平均で19.5%であった。

表 3-16 今泉地区分別燃やすごみ組成調査結果（1月）（単位：%）

地区名	今泉	今泉	平均
調査日	1月15日	1月18日	
生ごみ(組成)	25.1	13.9	19.5
その他	74.9	86.1	80.5
合計	100.0	100.0	100.0

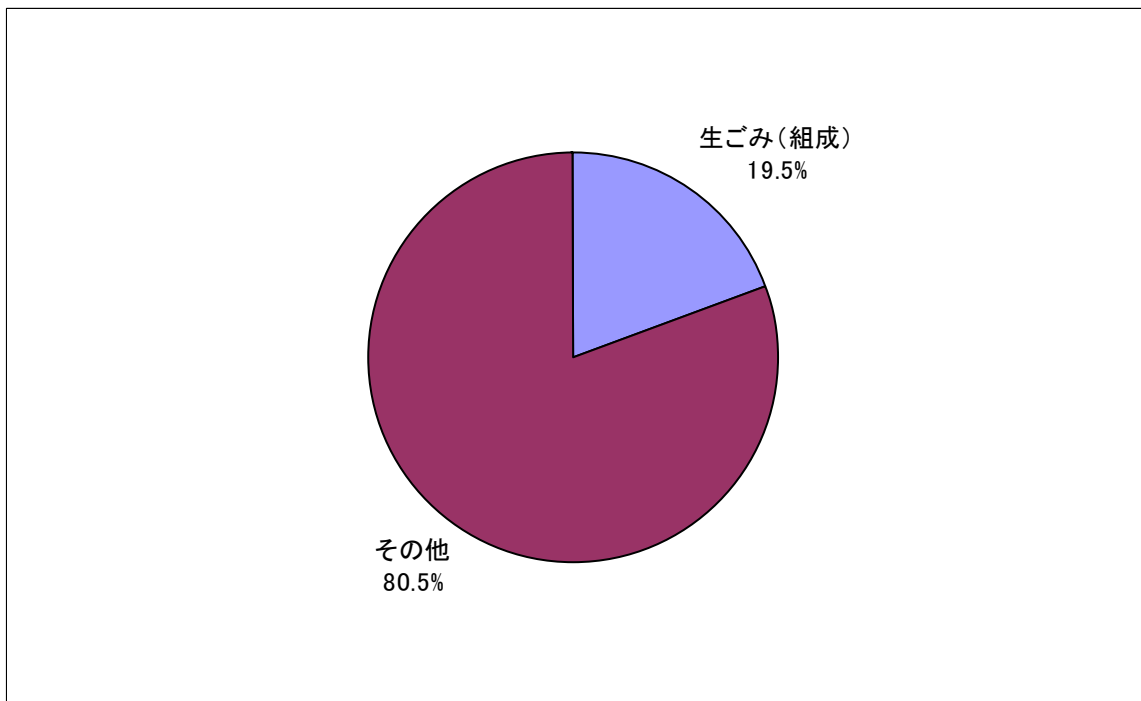


図 3-16 今泉地区分別燃やすごみ組成調査結果（1月）



### 3) 2 地区合計

#### (a) 分別生ごみ

分別生ごみとして収集されたごみのうち、生ごみ（組成）の占める割合は 89.7～95.8%であり、冬期調査を通じての平均は 92.0%で 90%以上の純度で回収されている。

生ごみ（組成）以外で目立つものは、紙類（3.6%）、プラスチック類（2.8%）と排出容器（1.5%）で、これらを合わせると 7.9%となる。ただし、紙類は発酵対象物であるため、混入しても問題はない。

表 3-17 2 地区合計分別生ごみ組成調査結果（1 月）（単位：%）

地区名	名越		今泉		平均	最大	最小
	1月15日	1月18日	1月15日	1月18日			
紙類	4.1	1.4	2.5	6.2	3.6	6.2	1.4
プラスチック類	4.1	1.6	3.4	1.9	2.8	4.1	1.6
木・竹類	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0
生ごみ(組成)	89.7	95.8	92.6	90.3	92.0	95.8	89.7
繊維類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
排出容器	2.1	1.2	1.2	1.6	1.5	2.1	1.2
その他の可燃物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
金属・ガラス類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の不燃物	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1	0.2	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-

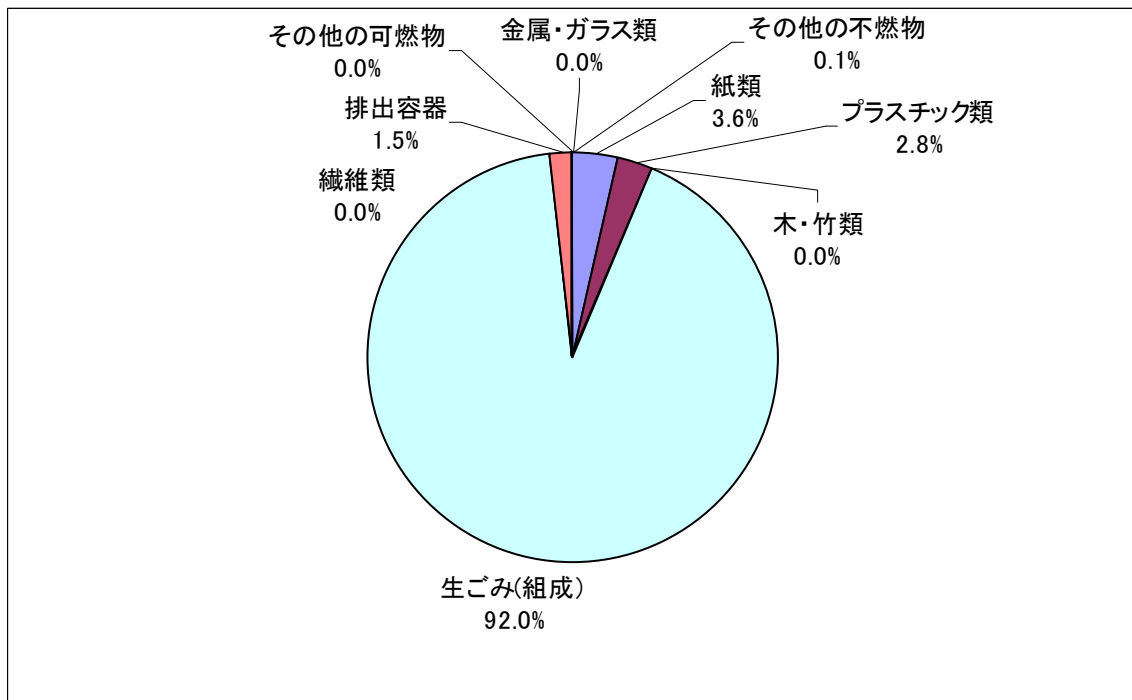


図 3-17 2 地区合計分別生ごみ組成調査結果（1 月）

(b) 分別燃やすごみ

分別燃やすごみとして排出されたごみのうち、生ごみ（組成）は13.9%～42.8%で全体の平均は30.4%であった。

表 3-18 2 地区合計分別燃やすごみ組成調査結果（1月）（単位：%）

地区名	名越	名越	今泉	今泉	平均	最大	最小
調査日	1月15日	1月18日	1月15日	1月18日			
生ごみ(組成)	39.9	42.8	25.1	13.9	30.4	42.8	13.9
その他	60.1	57.2	74.9	86.1	69.6	86.1	57.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-

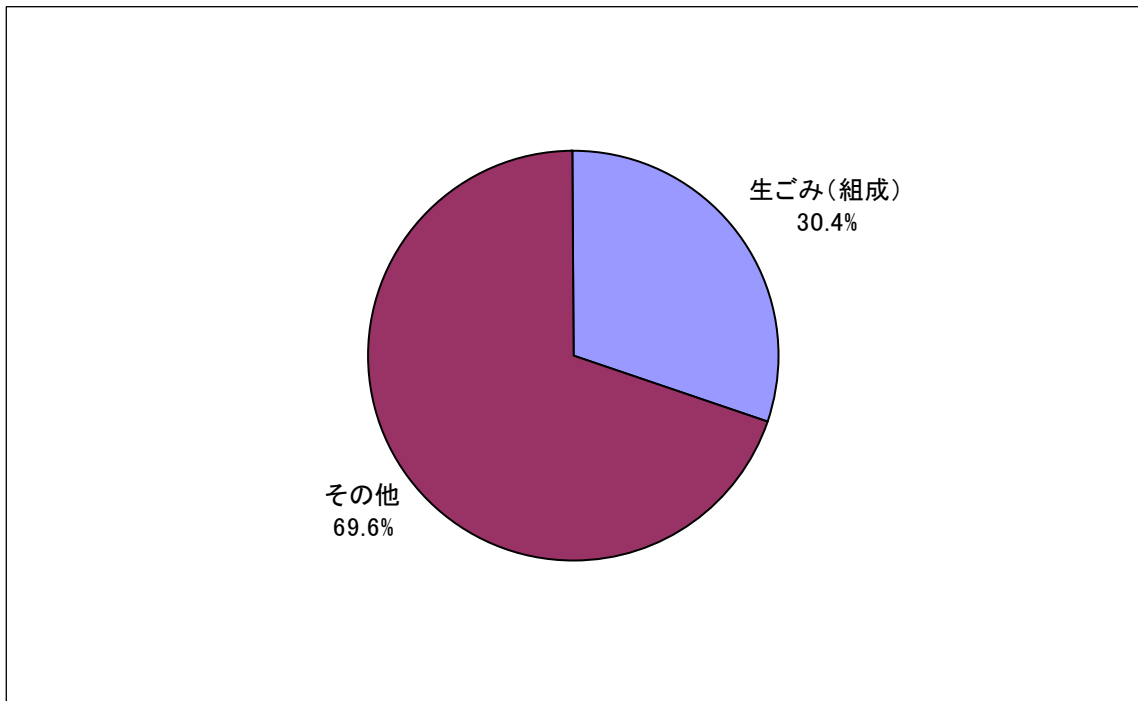


図 3-18 2 地区合計分別燃やすごみ組成調査結果（1月）

(4) 調査全体

1) 名越地区

(a) 分別生ごみ

名越クリーンセンター管内の3期を通じた分別生ごみの組成調査結果を以下に示す。8月、10月、1月と生ごみ（組成）の割合が確実に増加しており、1月18日の調査においては95.8%と非常に高い結果となった。ただし、この傾向が季節的な変動か、市民の生ごみの分別の徹底によるものなのかは、明らかではない。

表 3-19 名越地区調査全体における分別生ごみ組成調査結果（単位：％）

地区名	名越	名越	名越	名越	名越	名越	平均	最大	最小
	8月28日	8月31日	10月23日	10月26日	1月15日	1月18日			
紙類	13.4	1.8	2.3	2.6	4.1	1.4	4.3	13.4	1.4
プラスチック類	14.1	11.3	6.0	5.2	4.1	1.6	7.1	14.1	1.6
木・竹類	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0
生ごみ(組成)	70.2	83.8	89.4	88.5	89.7	95.8	86.1	95.8	70.2
繊維類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
排出容器	2.1	2.9	2.3	3.2	2.1	1.2	2.3	3.2	1.2
その他の可燃物	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
金属・ガラス類	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0
その他の不燃物	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-

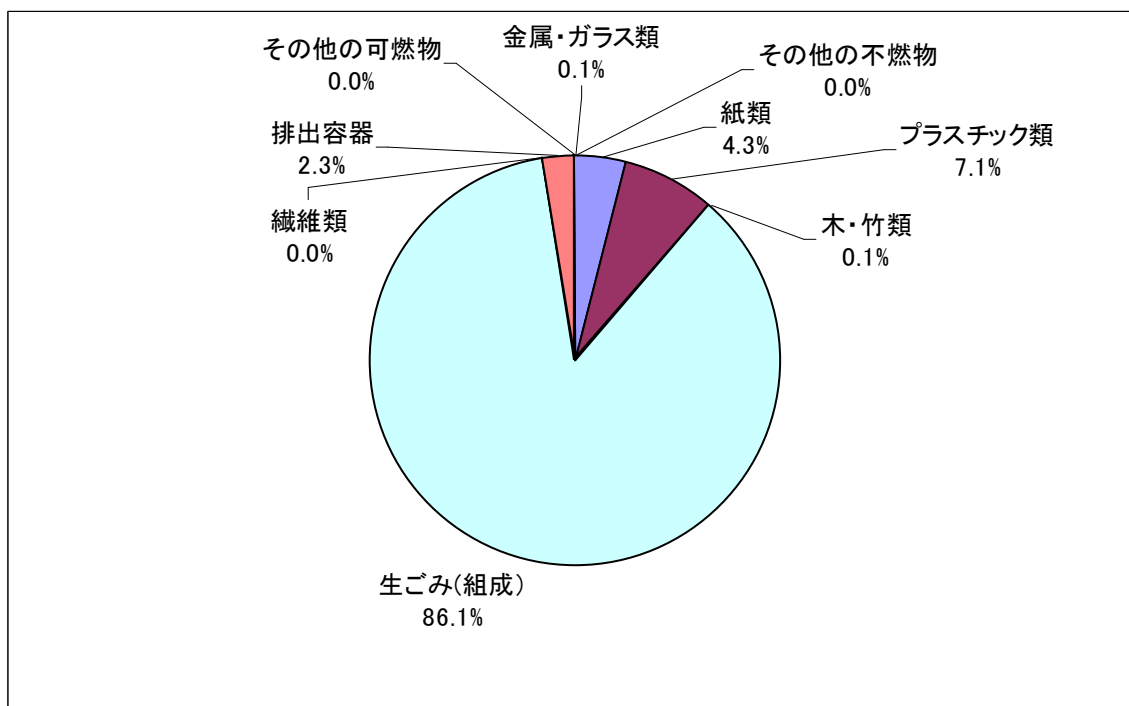


図 3-19 名越地区調査全体における分別生ごみ組成調査結果

(b) 分別燃やすごみ

名越クリーンセンター管内の3期を通じた分別燃やすごみの組成調査結果を以下に示す。分別燃やすごみの中の生ごみ（組成）の割合は、徐々に高くなってきており、1月18日の数値では40%を超過している。

表 3-20 名越地区調査全体における分別燃やすごみ組成調査結果（単位：％）

地区名	名越	名越	名越	名越	名越	名越	平均	最大	最小
調査日	8月28日	8月31日	10月23日	10月26日	1月15日	1月18日			
生ごみ(組成)	15.8	13.1	25.8	20.1	39.9	42.8	26.3	42.8	13.1
その他	84.2	86.9	74.2	79.9	60.1	57.2	73.7	86.9	57.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-

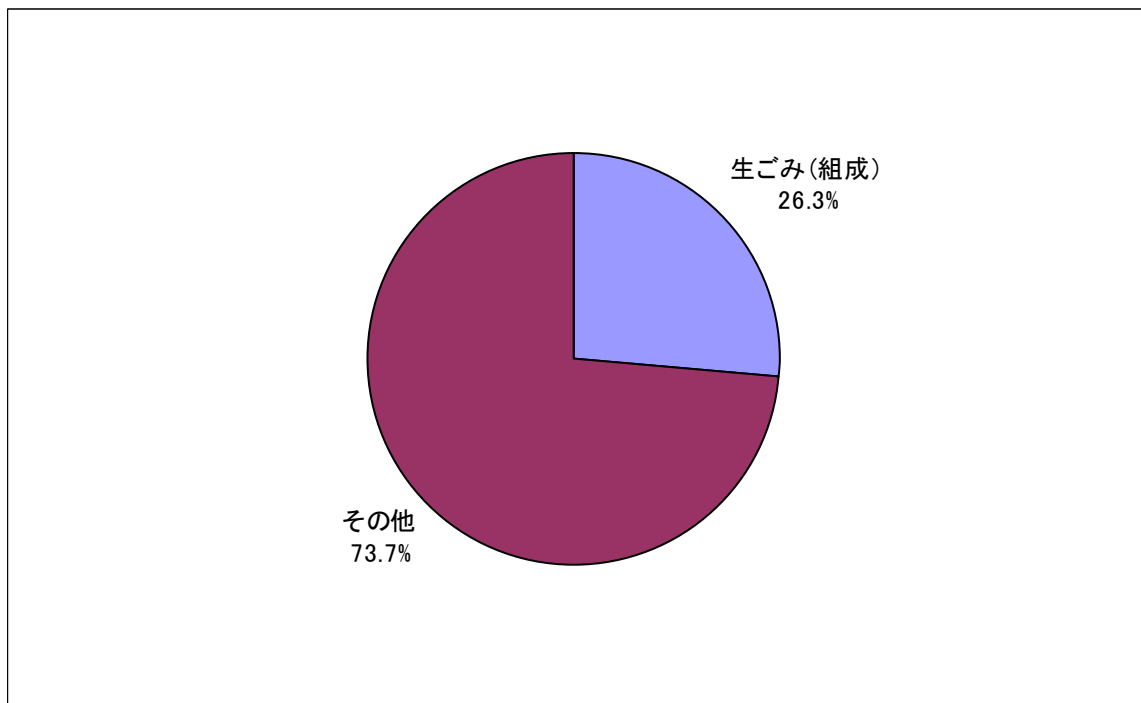


図 3-20 名越地区における調査全体の分別燃やすごみ組成調査結果

## 2) 今泉地区

### (a) 分別生ごみ

今泉クリーンセンター管内の3期を通じた分別生ごみの組成調査結果を以下に示す。名越クリーンセンター管内と同様に8月、10月、1月と生ごみ（組成）の割合が確実に増加しており、1月の調査においては15日、18日とも90%以上を達成している。ただし、この傾向が季節的な変動か、市民の生ごみの分別の徹底によるものなのかは、明らかではない。

表 3-21 今泉地区調査全体における分別生ごみ組成調査結果（単位：％）

地区名	今泉	今泉	今泉	今泉	今泉	今泉	平均	最大	最小
月日	8月28日	8月31日	10月23日	10月26日	1月15日	1月18日			
紙類	2.6	12.0	2.8	1.9	2.5	6.2	4.7	12.0	1.9
プラスチック類	8.0	16.2	7.8	3.2	3.4	1.9	6.8	16.2	1.9
木・竹類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0
生ごみ(組成)	85.7	67.4	87.2	87.8	92.6	90.3	85.1	92.6	67.4
繊維類	0.0	1.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.3	1.4	0.0
排出容器	1.9	3.0	2.1	6.6	1.2	1.6	2.7	6.6	1.2
その他の可燃物	1.8	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	1.8	0.0
金属・ガラス類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の不燃物	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.1	0.2	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-

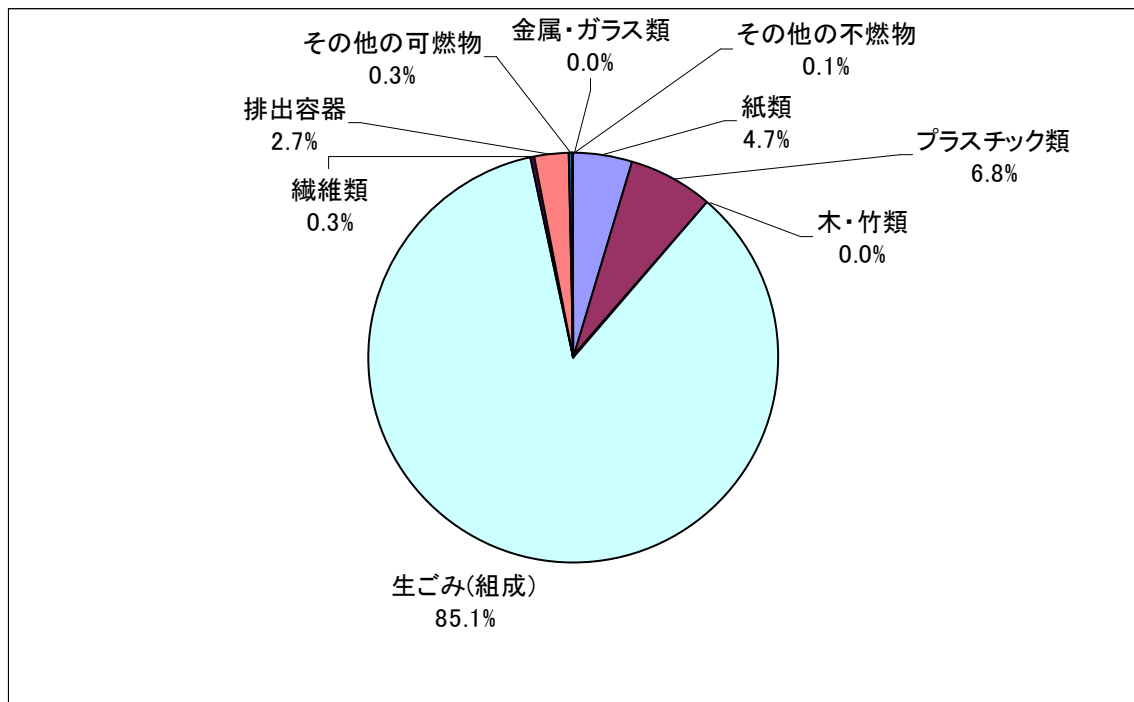


図 3-21 今泉地区調査全体における分別生ごみ組成調査結果

(b) 分別燃やすごみ

今泉クリーンセンター管内の3期を通じた分別燃やすごみの組成調査結果を以下に示す。分別燃やすごみの中に含まれる生ごみ(組成)の割合は、13.9~25.1%、平均で19.9%となっており、名越クリーンセンター管内のように徐々に高くなるという傾向は見られない。

表 3-22 今泉地区における調査全体の分別燃やすごみ組成調査結果 (単位: %)

地区名	今泉	今泉	今泉	今泉	今泉	今泉	平均	最大	最小
調査日	8月28日	8月31日	10月23日	10月26日	1月15日	1月18日			
生ごみ(組成)	14.6	20.6	24.7	20.4	25.1	13.9	19.9	25.1	13.9
その他	85.4	79.4	75.3	79.6	74.9	86.1	80.1	86.1	74.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-

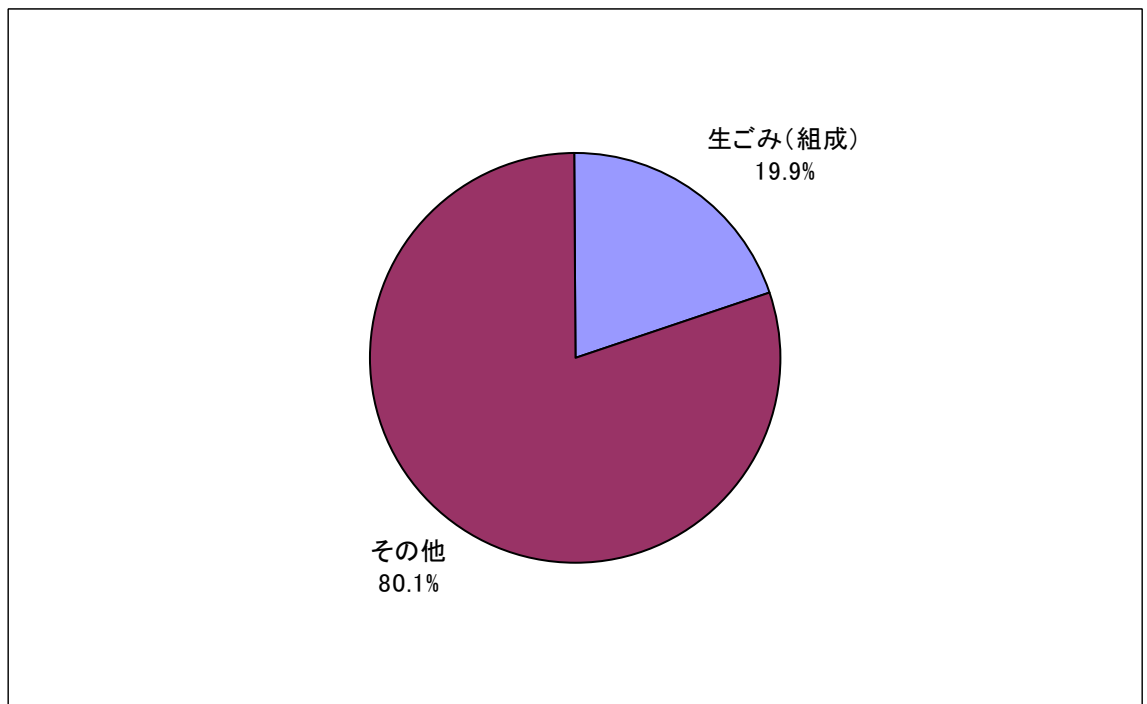


図 3-22 今泉地区における調査全体の分別燃やすごみ組成調査結果

3) 2 地区合計

(a) 分別生ごみ

3 期を通じた 2 地区合計の分別生ごみの組成調査結果を以下に示す。生ごみ（組成）の比率は 67.4～95.8%で、平均 85.7%であった。前述したとおり、名越クリーンセンター管内、今泉クリーンセンター管内とも 8 月、10 月、1 月と徐々に生ごみ（組成）の比率は高くなっている。逆にプラスチック類の比率は徐々に低下しており、生ごみ資源化施設にとってはよい傾向であるといえる。

表 3-23 2 地区合計の調査全体における分別生ごみ組成調査結果 （単位：％）

地区名	名越	名越	名越	名越	名越	名越
月日	8月28日	8月31日	10月23日	10月26日	1月15日	1月18日
紙類	13.4	1.8	2.3	2.6	4.1	1.4
プラスチック類	14.1	11.3	6.0	5.2	4.1	1.6
木・竹類	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
生ごみ(組成)	70.2	83.8	89.4	88.5	89.7	95.8
繊維類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
排出容器	2.1	2.9	2.3	3.2	2.1	1.2
その他の可燃物	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
金属・ガラス類	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0
その他の不燃物	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

地区名	今泉	今泉	今泉	今泉	今泉	今泉
月日	8月28日	8月31日	10月23日	10月26日	1月15日	1月18日
紙類	2.6	12.0	2.8	1.9	2.5	6.2
プラスチック類	8.0	16.2	7.8	3.2	3.4	1.9
木・竹類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
生ごみ(組成)	85.7	67.4	87.2	87.8	92.6	90.3
繊維類	0.0	1.4	0.0	0.4	0.0	0.0
排出容器	1.9	3.0	2.1	6.6	1.2	1.6
その他の可燃物	1.8	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
金属・ガラス類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の不燃物	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

地区名	平均	最大	最小
紙類	4.5	13.4	1.4
プラスチック類	6.9	16.2	1.6
木・竹類	0.0	0.2	0.0
生ごみ(組成)	85.7	95.8	67.4
繊維類	0.2	1.4	0.0
排出容器	2.5	6.6	1.2
その他の可燃物	0.2	1.8	0.0
金属・ガラス類	0.0	0.2	0.0
その他の不燃物	0.0	0.2	0.0
合計	100.0	-	-

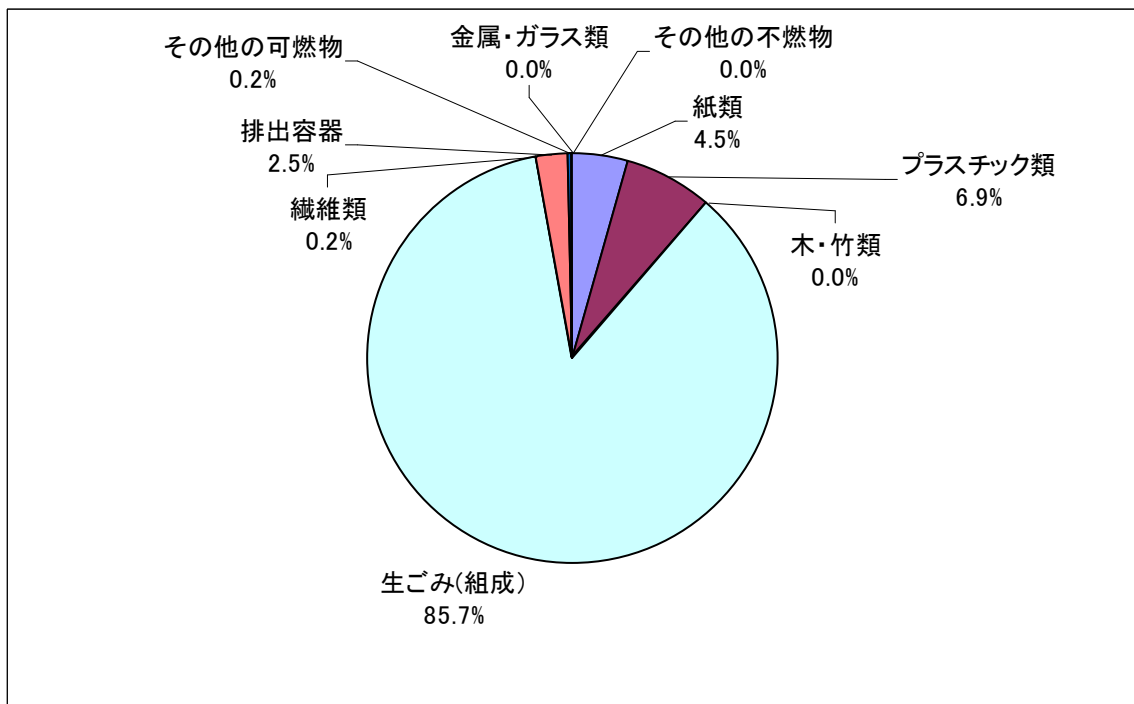


図 3-23 2 地区合計の調査全体における分別生ごみ組成調査結果



(b) 分別燃やすごみ

3期を通じた2地区合計の分別燃やすごみの組成調査結果を以下に示す。分別燃やすごみの中の生ごみ（組成）の割合は13.1～42.8%で、平均23.1%であった。

表 3-24 2地区合計の調査全体における分別燃やすごみ組成調査結果（単位：%）

地区名	名越	名越	名越	名越	名越	名越
調査日	8月28日	8月31日	10月23日	10月26日	1月15日	1月18日
生ごみ(組成)	15.8	13.1	25.8	20.1	39.9	42.8
その他	84.2	86.9	74.2	79.9	60.1	57.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

地区名	今泉	今泉	今泉	今泉	今泉	今泉
調査日	8月28日	8月31日	10月23日	10月26日	1月15日	1月18日
生ごみ(組成)	14.6	20.6	24.7	20.4	25.1	13.9
その他	85.4	79.4	75.3	79.6	74.9	86.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

地区名	平均	最大	最小
調査日			
生ごみ(組成)	23.1	42.8	13.1
その他	76.9	86.9	57.2
合計	100.0	-	-

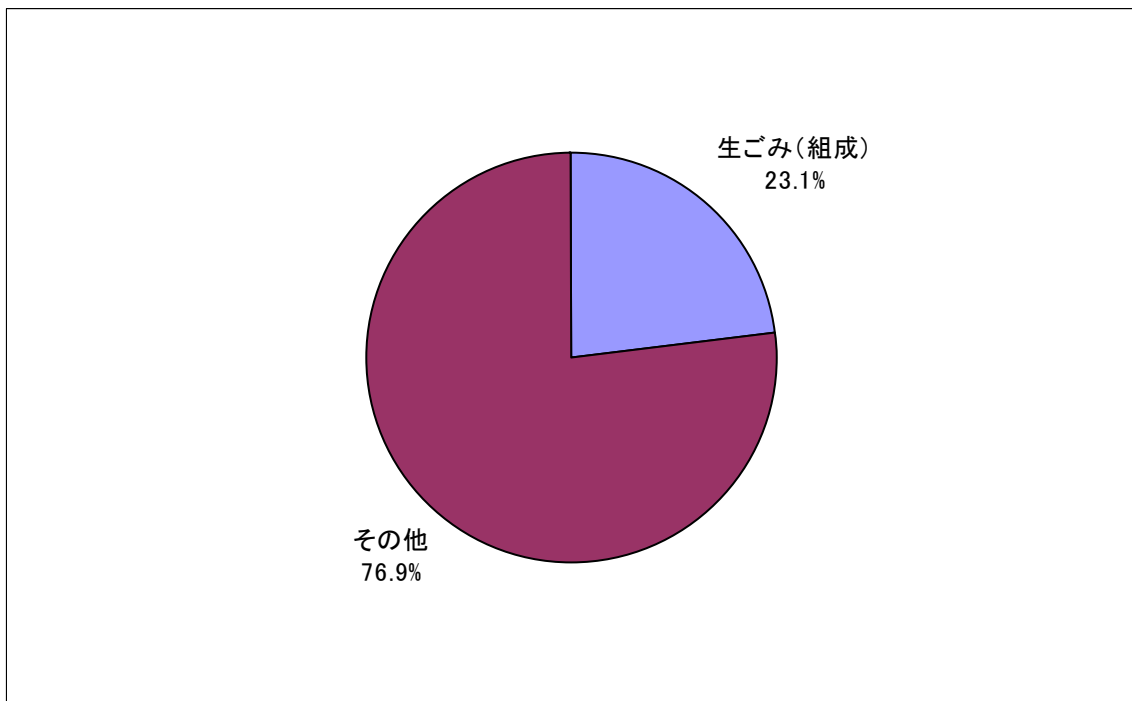


図 3-24 2地区合計の調査全体における分別燃やすごみ組成調査結果

### 3.2 単位体積重量

#### (1) 8月調査

8月調査時における単位体積重量の調査結果を以下に示す。単位体積重量は、概ね600～800kg/m<sup>3</sup>の間に収まっており、全体（合計）で約710kg/m<sup>3</sup>であった。

表 3-25 分別生ごみ単位体積重量調査結果（8月）

地区名	受取日	ごみ重量	体積	単位体積重量
名越地区	8月28日	5.64 kg	0.00920 m <sup>3</sup>	613.04 kg/m <sup>3</sup>
	8月31日	6.14 kg	0.00780 m <sup>3</sup>	787.18 kg/m <sup>3</sup>
今泉地区	8月28日	6.22 kg	0.00824 m <sup>3</sup>	754.85 kg/m <sup>3</sup>
	8月31日	6.22 kg	0.00894 m <sup>3</sup>	695.75 kg/m <sup>3</sup>
合計	-	24.22 kg	0.03418 m <sup>3</sup>	708.60 kg/m <sup>3</sup>

#### (2) 10月調査

10月調査時における単位体積重量の調査結果を以下に示す。単位体積重量は、概ね600～650kg/m<sup>3</sup>の間に収まっており、全体（合計）で約630 kg/m<sup>3</sup>であった。

表 3-26 分別生ごみ単位体積重量調査結果（10月）

地区名	受取日	ごみ重量	体積	単位体積重量
名越地区	10月23日	3.88 kg	0.00636 m <sup>3</sup>	610.06 kg/m <sup>3</sup>
	10月26日	5.32 kg	0.00826 m <sup>3</sup>	644.07 kg/m <sup>3</sup>
今泉地区	10月23日	3.46 kg	0.00570 m <sup>3</sup>	607.02 kg/m <sup>3</sup>
	10月26日	4.74 kg	0.00736 m <sup>3</sup>	644.02 kg/m <sup>3</sup>
合計	-	17.4 kg	0.02768 m <sup>3</sup>	628.61 kg/m <sup>3</sup>

#### (3) 1月調査

1月調査時における単位体積重量の調査結果を以下に示す。単位体積重量は、概ね600～650kg/m<sup>3</sup>の間に収まっており、全体（合計）で約610kg/m<sup>3</sup>であった。

表 3-27 分別生ごみ単位体積重量調査結果（1月）

地区名	受取日	ごみ重量	体積	単位体積重量
名越地区	1月15日	5.00 kg	0.00840 m <sup>3</sup>	595.24 kg/m <sup>3</sup>
	1月18日	5.52 kg	0.00926 m <sup>3</sup>	596.11 kg/m <sup>3</sup>
今泉地区	1月15日	5.00 kg	0.00820 m <sup>3</sup>	609.76 kg/m <sup>3</sup>
	1月18日	5.42 kg	0.00842 m <sup>3</sup>	643.71 kg/m <sup>3</sup>
合計	-	20.94 kg	0.03428 m <sup>3</sup>	610.85 kg/m <sup>3</sup>

(4) 調査全体

3期を通じた単位体積重量の調査結果を以下に示す。単位体積重量は、概ね 500～800kg/m<sup>3</sup>の間にあり、ほとんどが、600～650 kg/m<sup>3</sup>の間に分布している。平均は約 650 kg/m<sup>3</sup>である。

表 3-28 調査全体における単位体積重量調査結果

地区名	受取日	ごみ重量	体積	単位体積重量
名越地区	8月28日	5.64 kg	0.00920 m <sup>3</sup>	613.04 kg/m <sup>3</sup>
	8月31日	6.14 kg	0.00780 m <sup>3</sup>	787.18 kg/m <sup>3</sup>
今泉地区	8月28日	6.22 kg	0.00824 m <sup>3</sup>	754.85 kg/m <sup>3</sup>
	8月31日	6.22 kg	0.00894 m <sup>3</sup>	695.75 kg/m <sup>3</sup>
名越地区	10月23日	3.88 kg	0.00636 m <sup>3</sup>	610.06 kg/m <sup>3</sup>
	10月26日	5.32 kg	0.00826 m <sup>3</sup>	644.07 kg/m <sup>3</sup>
今泉地区	10月23日	3.46 kg	0.00570 m <sup>3</sup>	607.02 kg/m <sup>3</sup>
	10月26日	4.74 kg	0.00736 m <sup>3</sup>	644.02 kg/m <sup>3</sup>
名越地区	1月15日	5.00 kg	0.00840 m <sup>3</sup>	595.24 kg/m <sup>3</sup>
	1月18日	5.52 kg	0.00926 m <sup>3</sup>	596.11 kg/m <sup>3</sup>
今泉地区	1月15日	5.00 kg	0.00820 m <sup>3</sup>	609.76 kg/m <sup>3</sup>
	1月18日	5.42 kg	0.00842 m <sup>3</sup>	643.71 kg/m <sup>3</sup>
平均				650.07 kg/m <sup>3</sup>

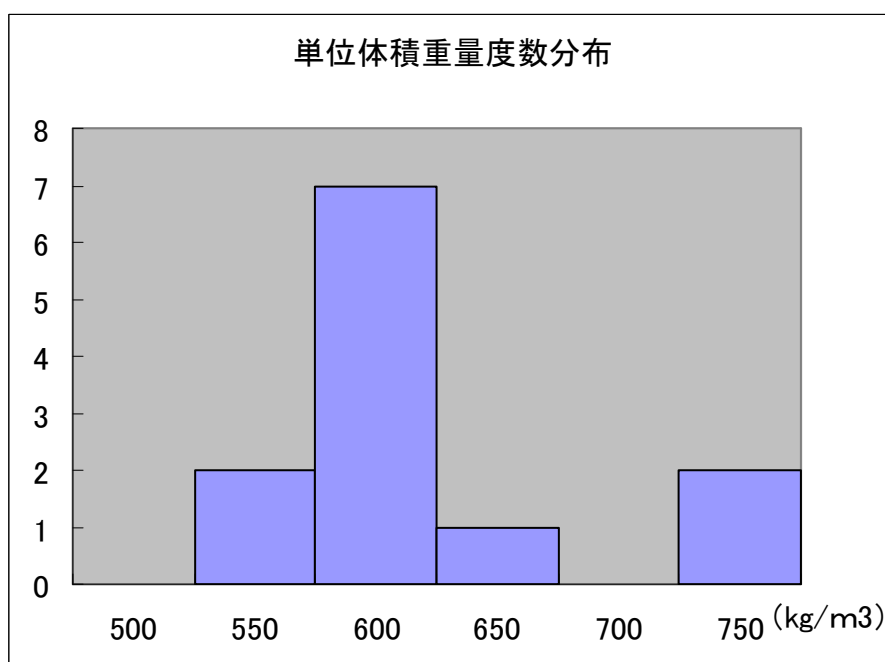


図 3-25 単位体積重量度数分布

### 3.3 水分

#### (1) 8月調査

8月調査時において収集された分別生ごみの水分調査結果を以下の表に示す。生ごみ（組成）のみの水分は80.5～84.3%で80%を超えており、平均で83.1%であった。分別生ごみ全体の水分は78.4～83.2%であった。

表 3-29 分別生ごみ水分調査結果（8月）（単位：％）

地区名	名越	名越	今泉	今泉	平均
調査日	8月28日	8月31日	8月28日	8月31日	—
紙類	80.0	71.4	76.0	77.2	76.2
プラスチック類	77.5	68.4	79.3	74.7	75.0
木・竹類	55.6	0.0	0.0	0.0	13.9
生ごみ（組成）	84.3	80.5	83.9	83.7	83.1
繊維類	0.0	0.0	0.0	68.3	17.1
排出容器	79.8	64.4	81.7	70.5	74.1
その他の可燃物	0.0	0.0	78.2	0.0	19.6
金属・ガラス類	0.0	41.2	0.0	0.0	10.3
その他の不燃物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全水分	82.6	78.4	83.2	80.8	81.3

#### (2) 10月調査

10月調査時において収集された分別生ごみの水分調査結果を以下の表に示す。生ごみ（組成）のみの水分は78.7～84.0%で80%を下回るデータが1件あり、平均で82.0%であった。分別生ごみ全体の水分は75.7～82.1%であった。

表 3-30 分別生ごみ水分調査結果（10月）（単位：％）

地区名	名越	名越	今泉	今泉	平均
調査日	10月23日	10月26日	10月23日	10月26日	—
紙類	71.6	76.7	73.2	78.0	74.9
プラスチック類	74.1	77.0	75.6	79.1	76.5
木・竹類	0.0	50.0	0.0	0.0	12.5
生ごみ（組成）	82.0	84.0	83.1	78.7	82.0
繊維類	0.0	0.0	0.0	72.5	18.1
排出容器	45.4	46.8	54.2	34.6	45.3
その他の可燃物	0.0	77.8	75.0	0.0	38.2
金属・ガラス類	0.0	11.8	0.0	0.0	3.0
その他の不燃物	0.0	0.0	0.0	57.1	14.3
全水分	80.5	82.1	81.6	75.7	80.0

(3) 1月調査

1月調査時において収集された分別生ごみの水分調査結果を以下の表に示す。生ごみ（組成）のみの水分は80.7～84.7%で80%を超えており、平均で83.1%であった。分別生ごみ全体の水分は79.7～83.6%であった。

表 3-31 分別生ごみ水分調査結果（1月）（単位：％）

地区名	名越	名越	今泉	今泉	平均
月日	1月15日	1月18日	1月15日	1月18日	—
紙類	75.8	66.0	65.2	42.0	62.3
プラスチック類	75.4	74.3	76.1	66.8	73.2
木・竹類	0.0	0.0	50.0	0.0	12.5
生ごみ（組成）	83.7	84.7	80.7	83.3	83.1
繊維類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
排出容器	44.8	30.2	46.8	43.5	41.3
その他の可燃物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
金属・ガラス類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の不燃物	0.0	0.0	75.0	52.0	31.8
全水分	82.2	83.6	79.7	79.8	81.3

(4) 調査全体

3 期を通じた水分の調査結果を以下に示す。生ごみ（組成）のみの水分は 78.7～84.7%で、平均は 82.7%であった。特に季節変動は見られない。分別生ごみ全体の水分は 75.7～83.6%であった。

表 3-32 調査全体の水分調査結果 （単位：％）

地区名	名越	名越	今泉	今泉	名越	名越
月日	8月28日	8月31日	8月28日	8月31日	10月23日	10月26日
紙類	80.0	71.4	76.0	77.2	71.6	76.7
プラスチック類	77.5	68.4	79.3	74.7	74.1	77.0
木・竹類	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
生ごみ（組成）	84.3	80.5	83.9	83.7	82.0	84.0
繊維類	0.0	0.0	0.0	68.3	0.0	0.0
排出容器	79.8	64.4	81.7	70.5	45.4	46.8
その他の可燃物	0.0	0.0	78.2	0.0	0.0	77.8
金属・ガラス類	0.0	41.2	0.0	0.0	0.0	11.8
その他の不燃物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全水分	82.6	78.4	83.2	80.8	80.5	82.1

地区名	今泉	今泉	名越	名越	今泉	今泉
月日	10月23日	10月26日	1月15日	1月18日	1月15日	1月18日
紙類	73.2	78.0	75.8	66.0	65.2	42.0
プラスチック類	75.6	79.1	75.4	74.3	76.1	66.8
木・竹類	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
生ごみ（組成）	83.1	78.7	83.7	84.7	80.7	83.3
繊維類	0.0	72.5	0.0	0.0	0.0	0.0
排出容器	54.2	34.6	44.8	30.2	46.8	43.5
その他の可燃物	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
金属・ガラス類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の不燃物	0.0	57.1	0.0	0.0	75.0	52.0
全水分	81.6	75.7	82.2	83.6	79.7	79.8

地区名	平均	最大	最小
月日			
紙類	71.1	80.0	42.0
プラスチック類	74.9	79.3	66.8
木・竹類	13.0	55.6	0.0
生ごみ（組成）	82.7	84.7	78.7
繊維類	11.7	72.5	0.0
排出容器	53.6	81.7	30.2
その他の可燃物	19.3	78.2	0.0
金属・ガラス類	4.4	41.2	0.0
その他の不燃物	15.3	75.0	0.0
全水分	80.9	83.6	75.7

### 3.4 可燃分・灰分

#### (1) 8月調査

8月調査時において収集された分別生ごみの可燃分及び灰分の組成を以下に示す。なお、分析は発酵不適物の除去を実施した後に行っている。

表 3-33 可燃分及び灰分組成調査結果（8月）（単位：％）

調査日	可燃分	灰分	合計
8月28日	89.7	10.3	100.0
8月31日	90.8	9.2	100.0
平均	90.2	9.8	100.0

#### (2) 10月調査

10月調査時において収集された分別生ごみの可燃分及び灰分の組成を以下に示す。なお、分析は発酵不適物の除去を実施した後に行っている。

表 3-34 可燃分及び灰分組成調査結果（10月）（単位：％）

調査日	可燃分	灰分	合計
10月23日	92.5	7.5	100.0
10月26日	90.7	9.3	100.0
平均	91.6	8.4	100.0

#### (3) 1月調査

1月調査時において収集された分別生ごみの可燃分及び灰分の組成を以下に示す。なお、分析は発酵不適物の除去を実施した後に行っている。

表 3-35 可燃分及び灰分組成調査結果（1月）（単位：％）

調査日	可燃分	灰分	合計
1月15日	89.1	10.9	100.0
1月18日	90.0	10.0	100.0
平均	89.5	10.5	100.0

(4) 調査全体

3期を通じた可燃分及び灰分の組成調査結果を以下に示す。表に示すとおり、可燃分は概ね90%、灰分は概ね10%程度である。

表 3-36 調査全体における可燃分及び灰分組成調査結果 (単位：%)

調査日	可燃分	灰分	合計
8月28日	89.7	10.3	100.0
8月31日	90.8	9.2	100.0
10月23日	92.5	7.5	100.0
10月26日	90.7	9.3	100.0
1月15日	89.1	10.9	100.0
1月18日	90.0	10.0	100.0
平均	90.5	9.5	100.0

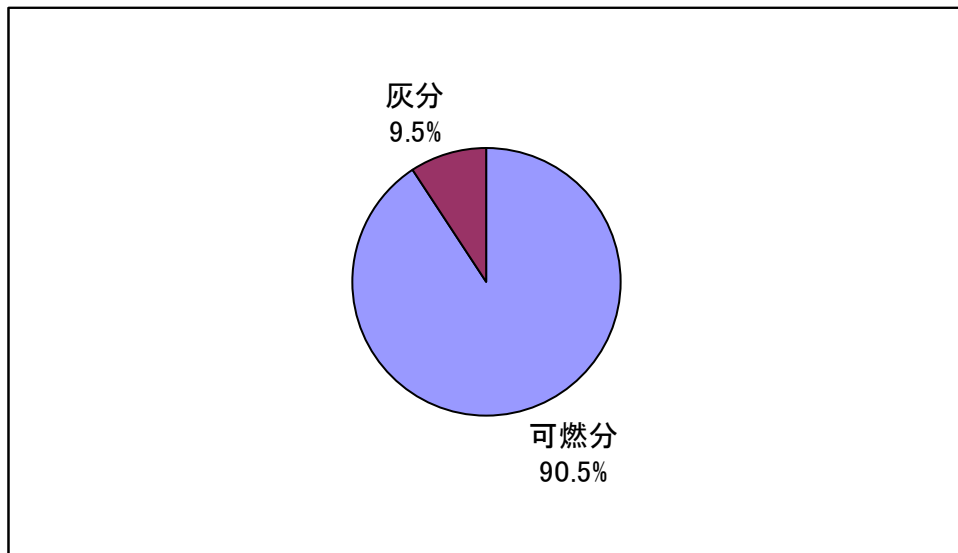


図 3-26 調査全体における可燃分及び灰分組成調査結果



### 3.5 可燃分元素組成

#### (1) 8月調査

8月調査時において収集された分別生ごみの可燃分元素組成を以下に示す。なお、可燃分元素組成の分析は発酵不適物の除去を実施した後に行っている。

表 3-37 可燃分元素組成(8月) (単位: %)

	炭素	水素	窒素	塩素	硫黄	酸素	合計
8月28日	49.1	7.6	2.5	0.6	0.2	40.0	100.0
8月31日	50.2	7.4	3.3	0.7	0.4	38.0	100.0
平均	49.7	7.5	2.9	0.7	0.3	38.9	100.0

#### (2) 10月調査

10月調査時において収集された分別生ごみの可燃分元素組成を以下に示す。なお、可燃分元素組成の分析は発酵不適物の除去を実施した後に行っている。

表 3-38 可燃分元素組成(10月) (単位: %)

	炭素	水素	窒素	塩素	硫黄	酸素	合計
10月23日	53.0	7.2	2.4	0.7	0.1	36.6	100.0
10月26日	49.9	6.8	3.1	0.7	0.1	39.4	100.0
平均	51.5	7.0	2.8	0.7	0.1	37.9	100.0

#### (3) 1月調査

1月調査時において収集された分別生ごみの可燃分元素組成を以下に示す。なお、可燃分元素組成の分析は発酵不適物の除去を実施した後に行っている。

表 3-39 可燃分元素組成(1月) (単位: %)

	炭素	水素	窒素	塩素	硫黄	酸素	合計
1月15日	45.2	4.7	2.5	0.7	0.2	46.7	100.0
1月18日	46.9	6.8	2.5	1.0	0.1	42.7	100.0
平均	46.1	5.8	2.5	0.9	0.2	44.5	100.0

(4) 調査全体

3期を通じた可燃分元素組成調査結果を以下に示す。

表 3-40 調査全体における可燃分元素組成調査結果 (単位：%)

	炭素	水素	窒素	塩素	硫黄	酸素	合計
8月28日	49.1	7.6	2.5	0.6	0.2	40.0	100.0
8月31日	50.2	7.4	3.3	0.7	0.4	38.0	100.0
10月23日	53.0	7.2	2.4	0.7	0.1	36.6	100.0
10月26日	49.9	6.8	3.1	0.7	0.1	39.4	100.0
1月15日	45.2	4.7	2.5	0.7	0.2	46.7	100.0
1月18日	46.9	6.8	2.5	1.0	0.1	42.7	100.0
平均	49.0	6.8	2.7	0.7	0.2	40.6	100.0

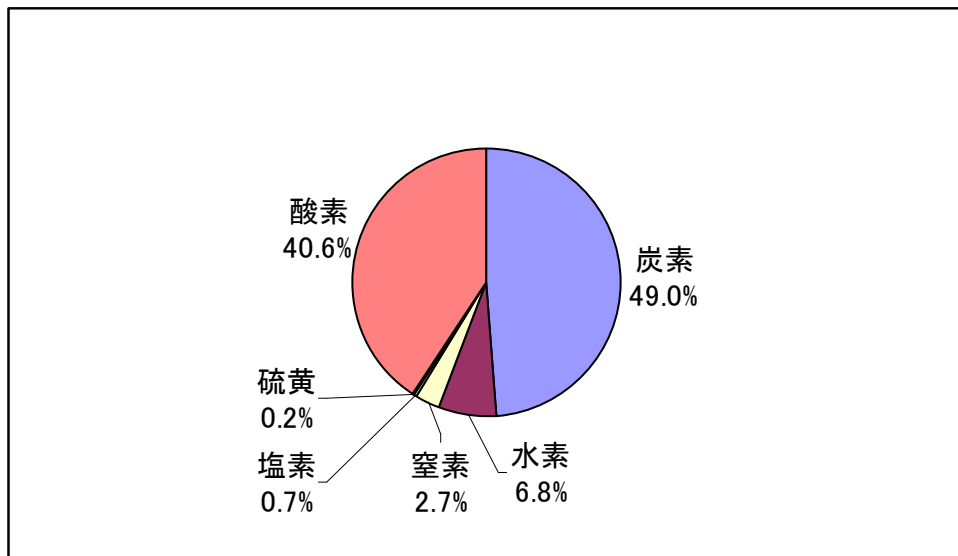


図 3-27 調査全体における可燃分元素組成調査結果

### 3.6 水素イオン濃度

#### (1) 8月調査

8月調査時において収集された分別生ごみの水素イオン濃度を以下に示す。調査結果は7を下回りやや酸性である。

表 3-41 水素イオン濃度調査結果（8月）

調査日	水素イオン濃度	水温（℃）
8月28日	4.5	29
8月31日	4.0	29

#### (2) 10月調査

10月調査時において収集された分別生ごみの水素イオン濃度を以下に示す。調査結果は7を下回りやや酸性である。

表 3-42 水素イオン濃度調査結果（10月）

調査日	水素イオン濃度	水温（℃）
10月23日	4.6	23
10月26日	5.4	23

#### (3) 1月調査

1月調査時において収集された分別生ごみの水素イオン濃度を以下に示す。調査結果は7を下回りやや酸性である。

表 3-43 水素イオン濃度調査結果（1月）

調査日	水素イオン濃度	水温（℃）
1月15日	5.3	15
1月18日	4.4	15

#### (4) 調査全体

3期を通じた水素イオン濃度の調査結果を以下に示す。調査結果は全て7を下回りやや酸性である。

表 3-44 調査全体における水素イオン濃度調査結果

調査日	水素イオン濃度	水温（℃）
8月28日	4.5	29
8月31日	4.0	29
10月23日	4.6	23
10月26日	5.4	23
1月15日	5.3	15
1月18日	4.4	15

### 3.7 有機物量

有機物量は、生ごみの有機物を代表する指標として VTS (Volatile Total Solid: 強熱減量) を分析するものとした。VTS は、TS (Total Solid: 蒸発残留物) を求めてから 600°C の強熱を与えて求めるものであるため、ここでは、TS 量と VTS 量の両方の分析結果を示す。

#### (1) 8月調査

8月調査時における TS 及び VTS の分析結果は以下のとおりであった。

表 3-45 TS と VTS (8月)

調査日	単位	TS	VTS
8月28日	mg/l	12,312	11,238
8月31日	mg/l	17,090	15,518
平均	mg/l	14,701	13,378

上表に示した TS、VTS の値は、生ごみ (200g) に純水を加えて調整した試料 (1200g) に対する濃度、すなわち 6 倍に希釈されたものの濃度となっている。生ごみからのメタンガスの発生量を推定するためには、これを希釈前の生ごみ中の濃度に換算する必要がある。換算結果は、以下に示すように、TS は 8.8%、VTS は 8.0% となる。

$$\text{TS 量} = 14,701 \text{ [mg/l]} \times 6 = 88,206 \text{ [mg/l]} = 8.8\%$$

$$\text{VTS 量} = 13,378 \text{ [mg/l]} \times 6 = 80,268 \text{ [mg/l]} = 8.0\%$$

#### (2) 10月調査

10月調査時における TS 及び VTS の分析結果は以下のとおりであった。

表 3-46 TS と VTS (10月)

調査日	単位	TS	VTS
10月23日	mg/l	26,100	24,134
10月26日	mg/l	26,332	24,860
平均	mg/l	26,216	24,497

分別生ごみ 1kg あたり濃度として計算すると以下のとおり TS は 15.7%、VTS は 14.7% となる。

$$\text{TS 量} = 26,216 \text{ [mg/l]} \times 6 = 157,296 \text{ [mg/l]} = 15.7\%$$

$$\text{VTS 量} = 24,497 \text{ [mg/l]} \times 6 = 146,982 \text{ [mg/l]} = 14.7\%$$

### (3) 1月調査

1月調査時におけるTS及びVTSの分析結果は以下のとおりであった。

表 3-47 TSとVTS (1月)

調査日	単位	TS	VTS
1月15日	mg/l	26,488	23,032
1月18日	mg/l	23,322	21,018
平均	mg/l	24,905	22,025

分別生ごみ 1kg あたり濃度として計算すると以下のとおり TS は 14.9%、VTS は 13.2% となる。

$$\text{TS 量} = 24,905 \text{ [mg/l] } \times 6 = 149,430 \text{ [mg/l] } = 14.9\%$$

$$\text{VTS 量} = 22,025 \text{ [mg/l] } \times 6 = 132,150 \text{ [mg/l] } = 13.2\%$$

### (4) 調査全体

3期を通じたTS及びVTSの調査結果を以下に示す。

表 3-48 調査全体におけるTSとVTS

調査日	TS [mg/l]	VTS [mg/l]
8月28日	12,312	11,238
8月31日	17,090	15,518
10月23日	26,100	24,134
10月26日	26,332	24,860
1月15日	26,488	23,032
1月18日	23,322	21,018
平均	21,941	19,967

8月調査時のデータが10月および1月のデータに比べて小さな値となっている。これは8月の調査では、2~3cm程度に粗破碎した後でジューサーを使用して粉碎・攪拌せず、分別生ごみ 200g に水 1,000cc を加えた状態から直接 50cc の試料を抽出したことから、比較的大きな固形物などは試料中に含まれず、固形分の量が小さくなったと推定される。そこでTSおよびVTSの算出に当っては、8月のデータを削除したものを採用することとした。

表 3-49 8月のデータを除く調査全体における TS と VTS

調査日	TS [mg/ℓ ]	VTS [mg/ℓ ]
10月23日	26,100	24,134
10月26日	26,332	24,860
1月15日	26,488	23,032
1月18日	23,322	21,018
8月を除く 平均値	25,561	23,261

上表に示した TS、VTS の値は、生ごみ (200g) に純水を加えて調整した試料 (1200g) に対する濃度、すなわち 6 倍に希釈されたものの濃度となっている。生ごみからのメタンガスの発生量を推定するためには、これを希釈前の生ごみ中の濃度に換算する必要がある。換算結果は、以下に示すように、TS 量が 15.3%、VTS 量が 14.0%となる。

$$\text{TS 量} : 25,561 \text{ [mg/ℓ ]} \times 6 = 153,366 \text{ [mg/ℓ ]} = 15.3\%$$

$$\text{VTS 量} = 23,261 \text{ [mg/ℓ ]} \times 6 = 139,566 \text{ [mg/ℓ ]} = 14.0\%$$